

令和8年度
こどもまんなかアンケート
結果報告



1 調査の趣旨・目的

令和7年度より施行している「福島県こどもまんなかプラン」の運用に当たっては、こども基本法の理念に基づき、「こども・若者の声を基に、こども・若者の幸福を高めていくこと」を重要な目標としている。

この目標を達成するため、本調査では、「こども・若者の幸福度や自己肯定感、及びこども・若者から見た自身の暮らしている地域や自身を取り巻く環境等に対する評価」を数値化し、特に重要な項目を「福島県こどもまんなかプラン」の指標として位置づけることで、こどもの声を軸とした PDCA サイクルの構築を図り、本県のこどもたちの意見を踏まえた「こども まんなか ふくしま」の実現を目指す。

また、調査の結果は、計画の進行管理の他、こども施策の EBPM(証拠に基づく政策立案)における根拠として活用することを想定している。

2 調査対象者

県内の小学6年生・中学2年生・高校2年生(全員)

3 調査期間

令和8年6月16日 ～ 令和8年7月3日

4 調査方法

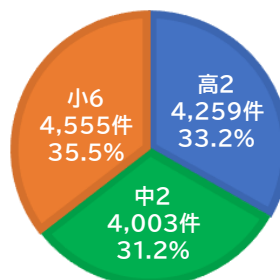
県・市町村教育委員会及び各学校の協力の下、児童生徒又は保護者あてに、本調査への協力依頼とウェブ上に設けた回答フォームの URL を電子メール等又はチラシにより周知し、各児童生徒が当該回答フォームへアクセスして、各質問項目に入力・送信した回答を集計した。

5 回答状況

(1) 学年別

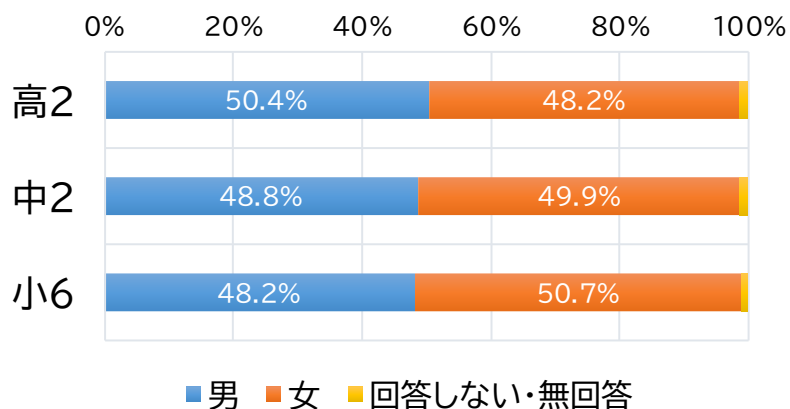
すべての学年から 4,000～4,500 件程度、合計で12,817 件の回答を得た。

	計
高2	4,259件
中2	4,003件
小6	4,555件
合計	12,817件



(2) 学年+性別

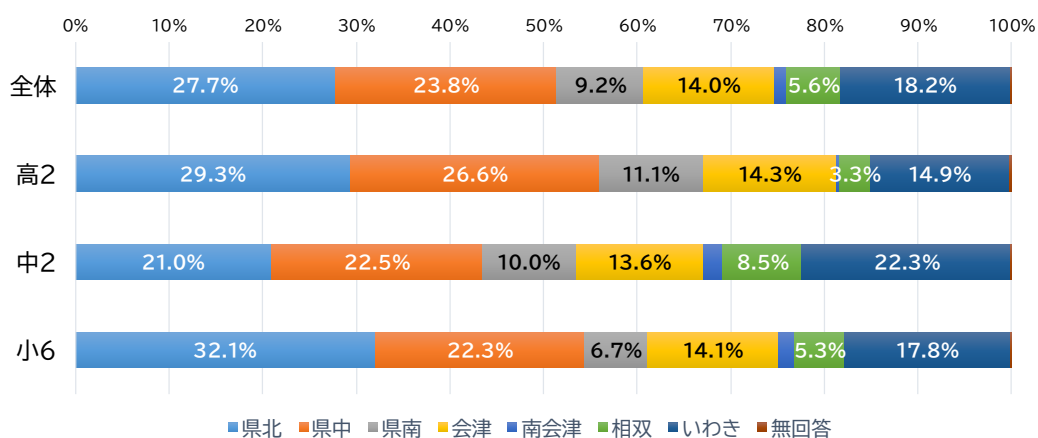
男女比はすべての学年で半々となった。



	男	女	回答しない・無回答	合計
高2	2,146件	2,053件	60件	4,259件
中2	1,954件	1,999件	50件	4,003件
小6	2,196件	2,310件	49件	4,555件
合計	6,296件	6,362件	159件	12,817件

(3) 学年+方部別

各方部の人口差が概ね反映された結果となった。



	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	無回答
全体	3,550件	3,047件	1,180件	1,795件	169件	723件	2,335件	18件
高2	1,250件	1,133件	472件	609件	10件	141件	635件	9件
中2	840件	899件	402件	546件	81件	340件	891件	4件
小6	1,460件	1,015件	306件	640件	78件	242件	809件	5件

6 回答結果

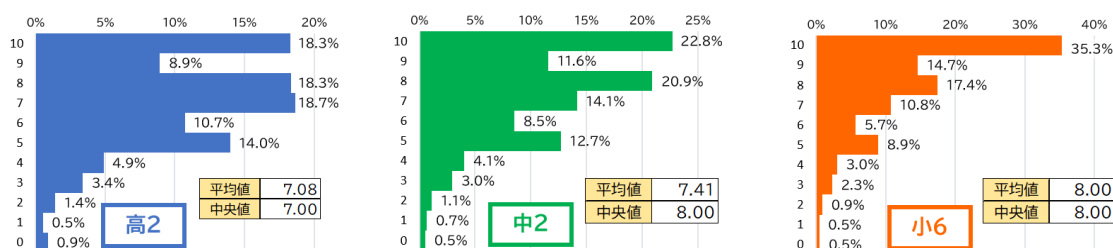
KPI あなたは今、どれくらい幸せだと感じていますか

〈10＝とても幸せ～0＝とても不幸〉で自己採点

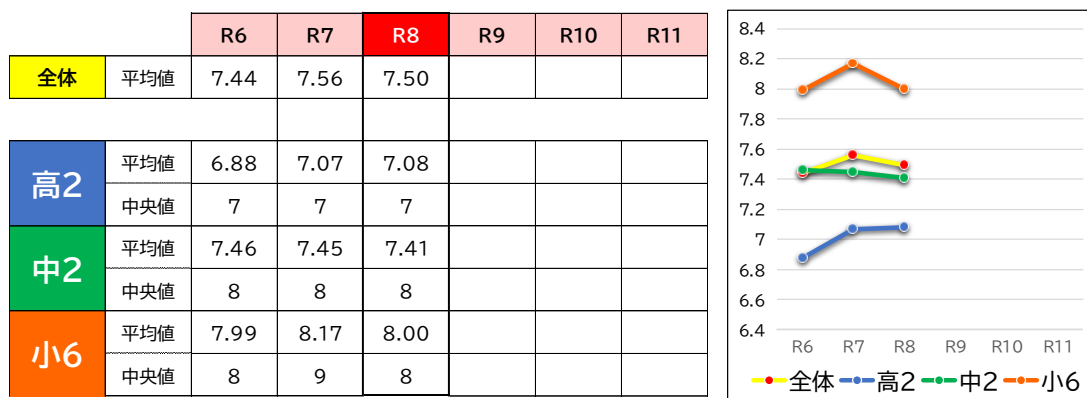
小・中・高
平均値

7.50

◆令和8年度調査 各学年結果



◆調査結果推移



《注》

以降の質問項目における結果では、幸福度との相関関係(一方の数値が増加すると、もう一方の数値が増加する、または減少する関係)があるか分析した結果を掲載している。

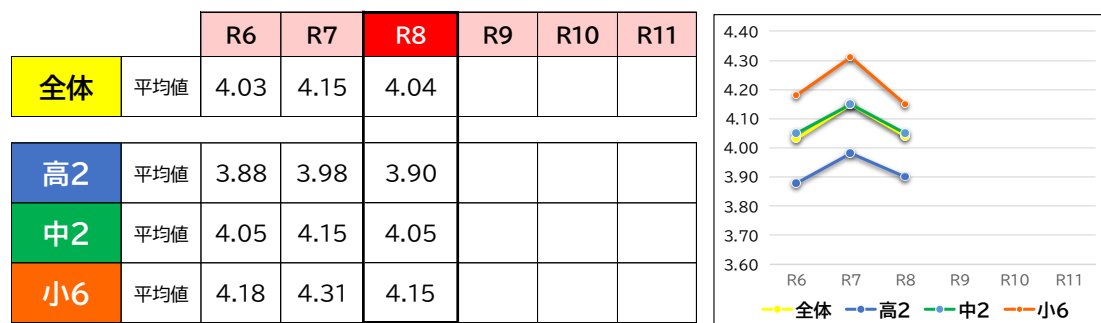
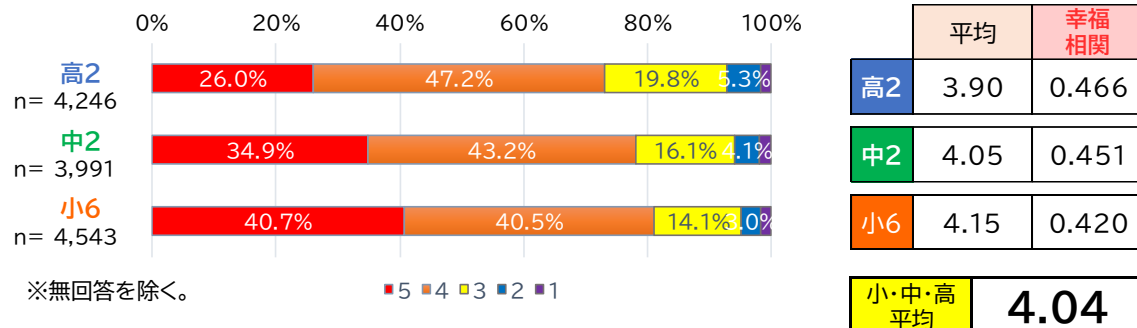
★一方の数値が**増加**すると片方も**増加**＝《正の相関》

★一方の数値が**増加**すると片方が**減少**＝《負の相関》

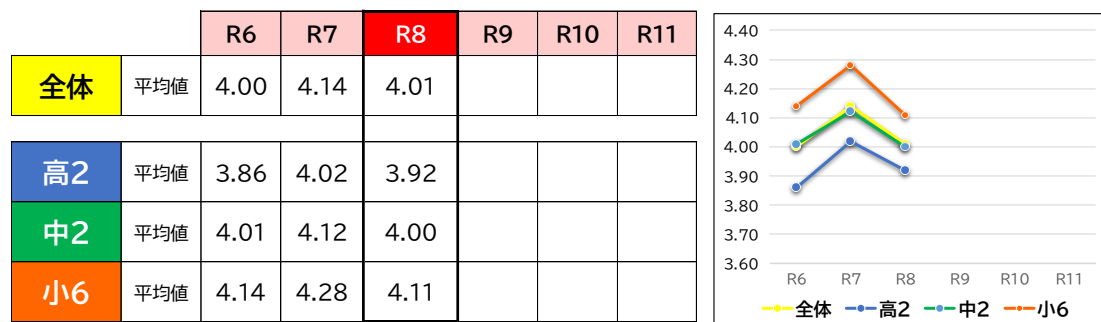
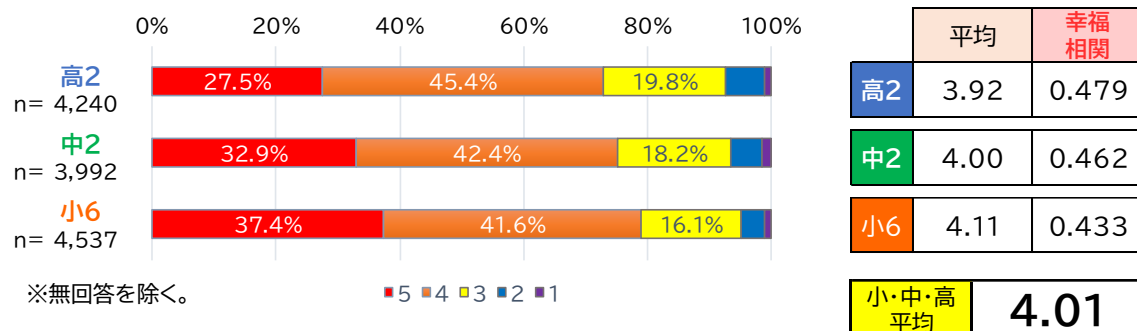
なお、それぞれ相関係数が 0.4 以上で《正の相関》、－0.4 以下で《負の相関》ありと判断している。

◆ 自分自身について (自己評価・将来の夢・福島県で生活する希望)

1 通っている学校や、学校生活が好き

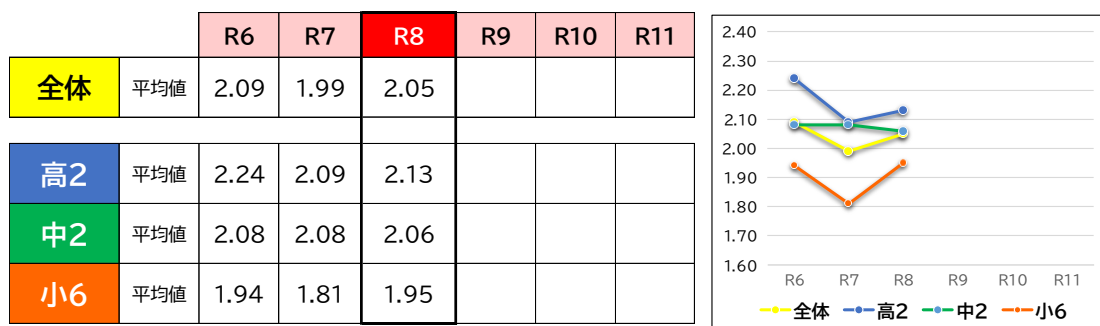
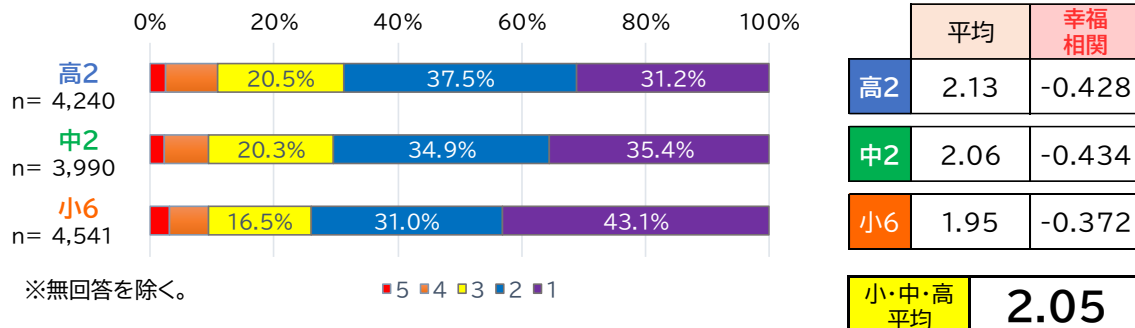


2 自分は心も体も健康であると思う

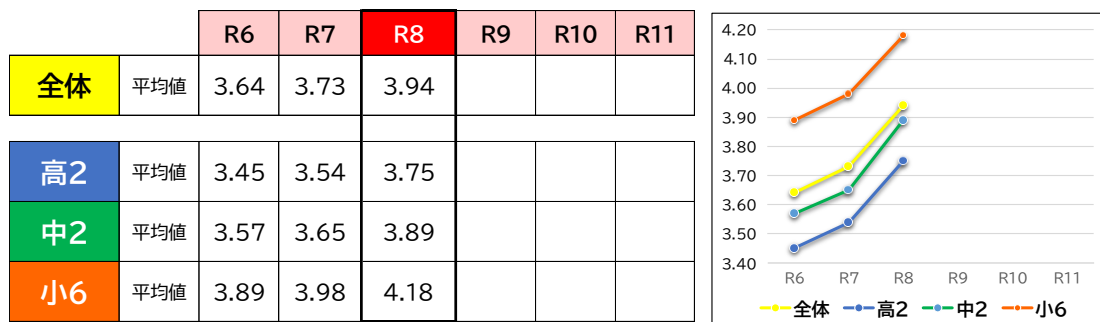
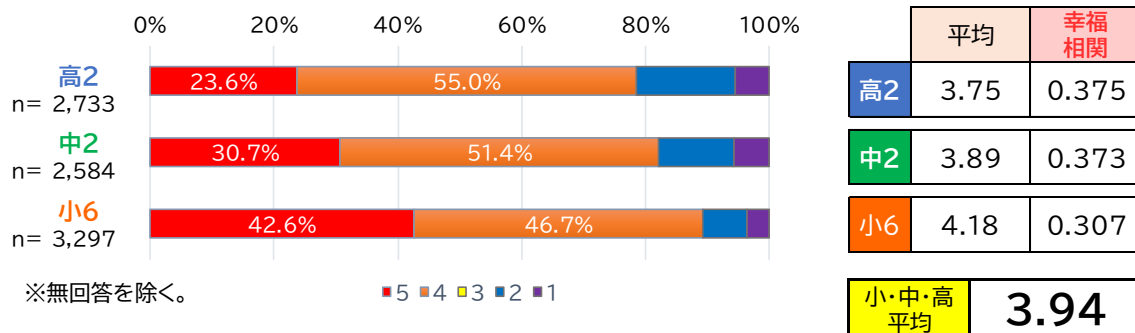


5=とてもそう思う、4=そう思う、3=どちらともいえない、2=そう思わない、
1=まったくそう思わない

3 自分はひとりぼっちだ、孤独だと感じることもある



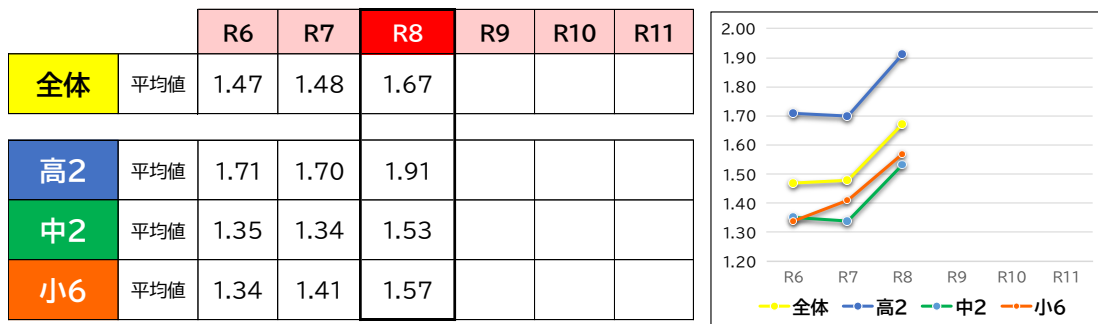
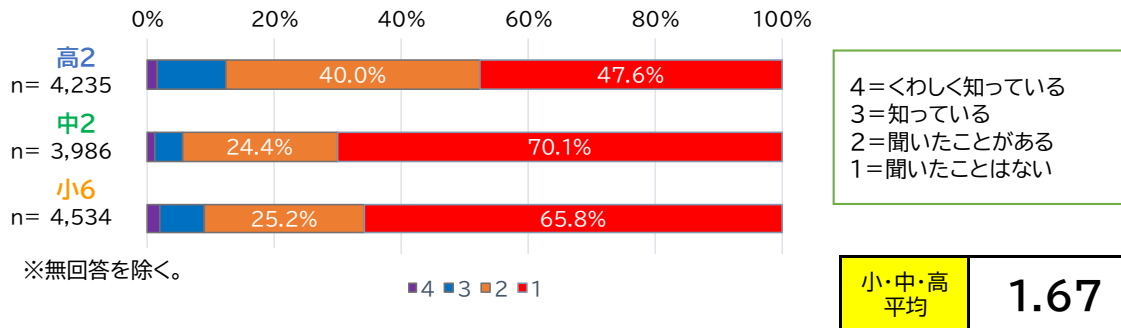
4 将来に明るい希望をもっている



5=とてもそう思う、4=そう思う、3=どちらともいえない、2=そう思わない、
1=まったくそう思わない

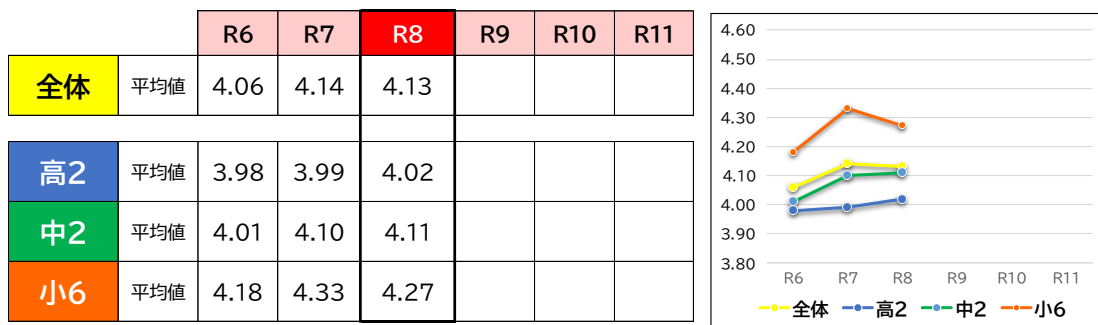
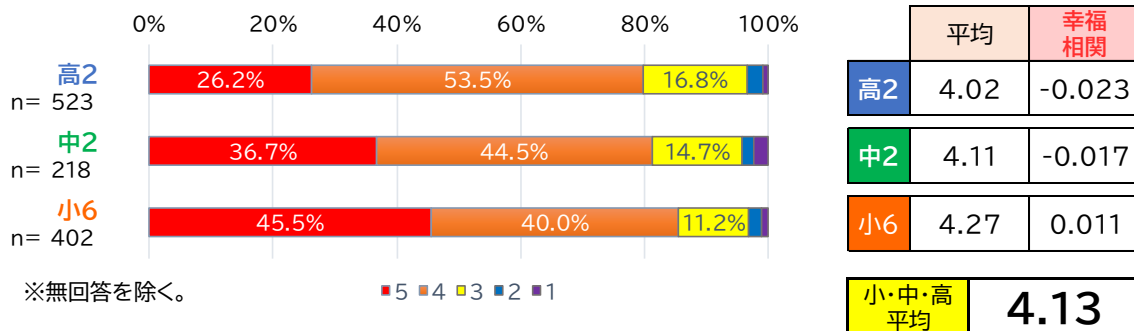
6

「こどもの権利条約」について知っているこどもの割合



7

自分の「こどもの権利」は守られていると思う

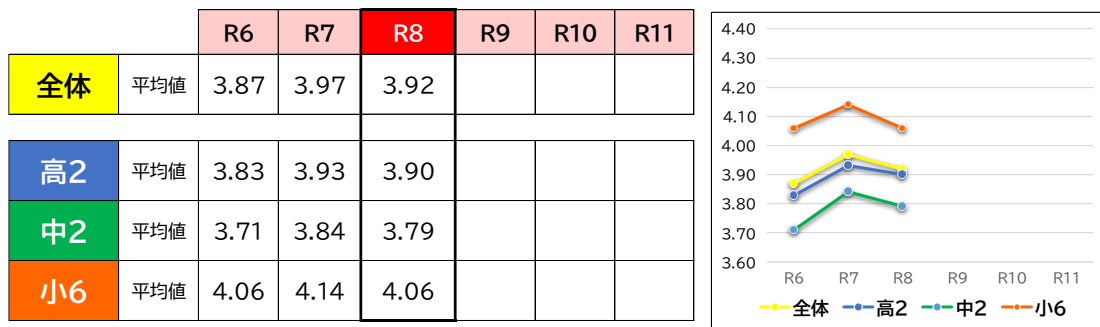
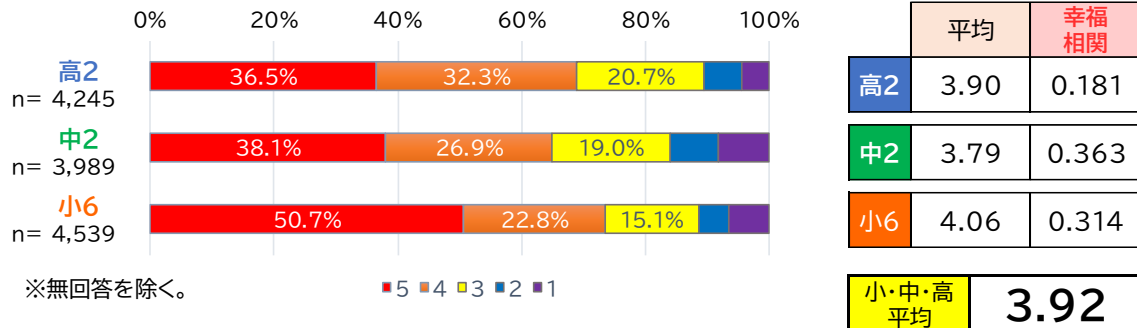


※6の質問で「4 = くわしく知っている」「3 = 知っている」と回答した児童生徒のみ回答

5 = とてもそう思う、4 = そう思う、3 = どちらともいえない、2 = そう思わない、
1 = まったくそう思わない

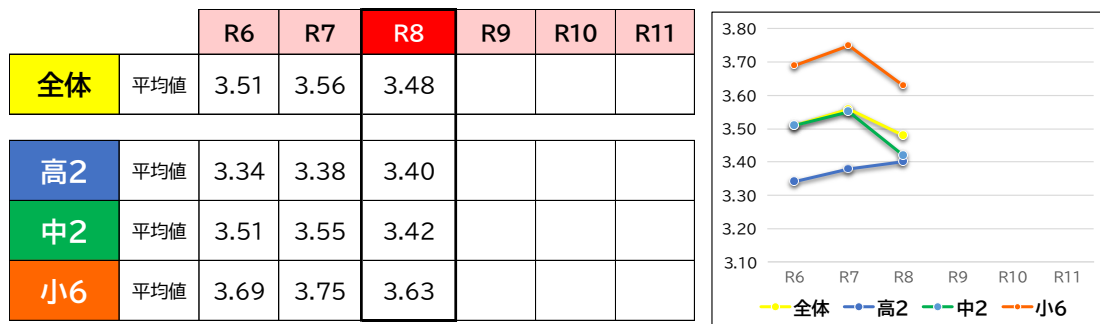
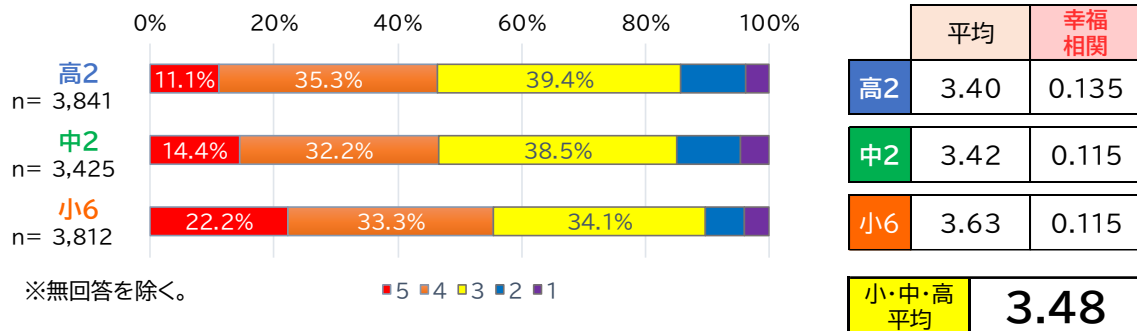
8

将来の夢や目標、なりたい職業・やりたい仕事がある



9

福島県は将来の夢をかなえられる場所だと思う

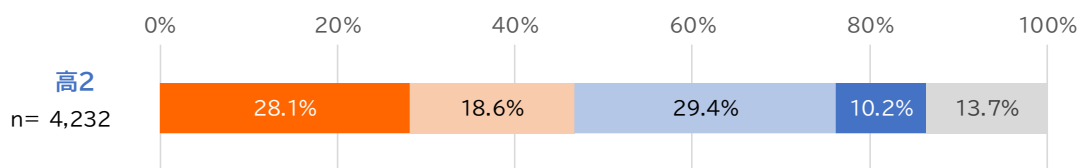


※ 6の質問で「4＝くわしく知っている」または「3＝知っている」と回答した児童生徒のみ回

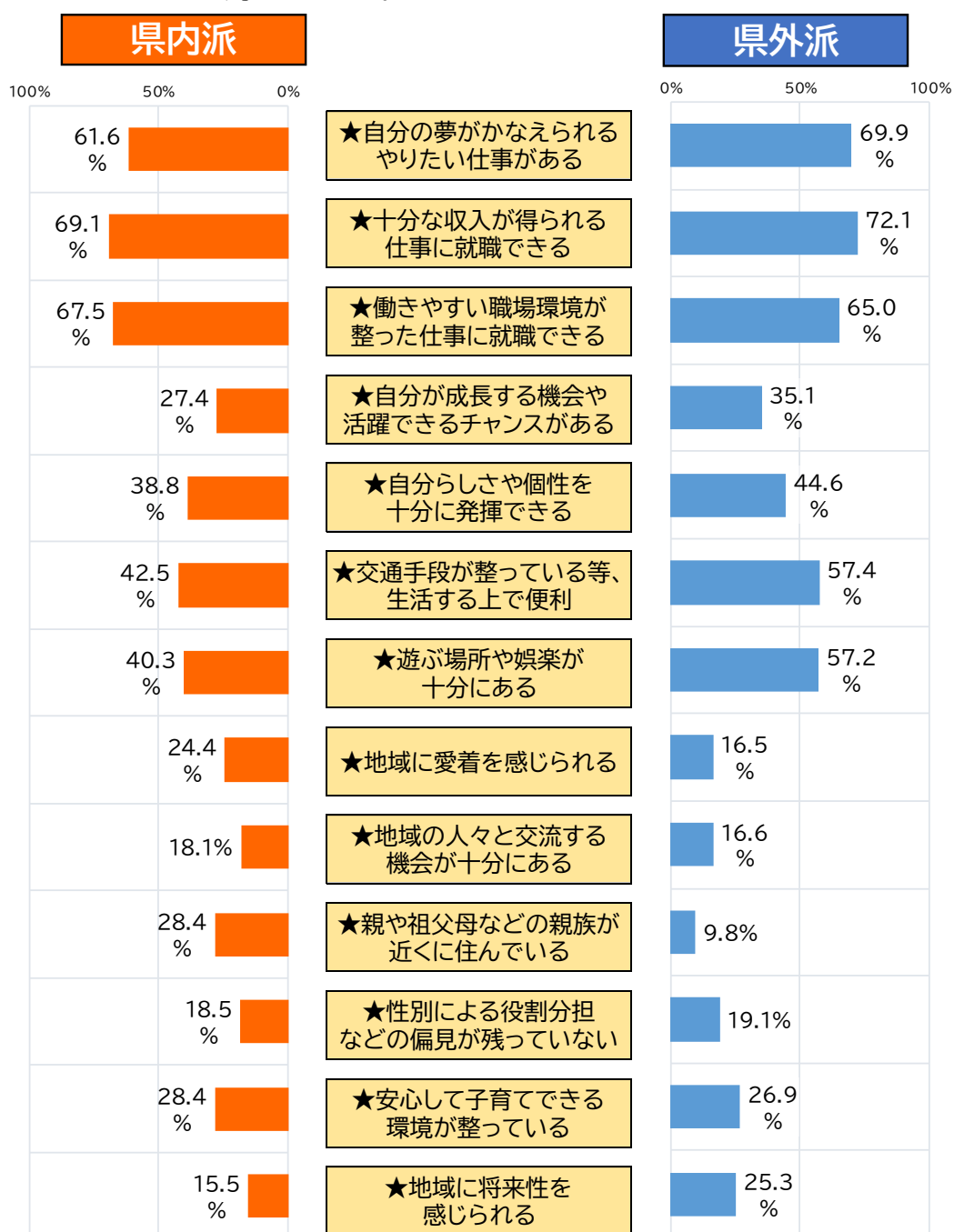
5＝とてもそう思う、4＝そう思う、3＝どちらともいえない、2＝そう思わない、
1＝まったくそう思わない

10

将来、どこで生活したいと考えているか
 将来、生活する地域を選ぶ上で希望すること、重視することは何か ※高校生限定

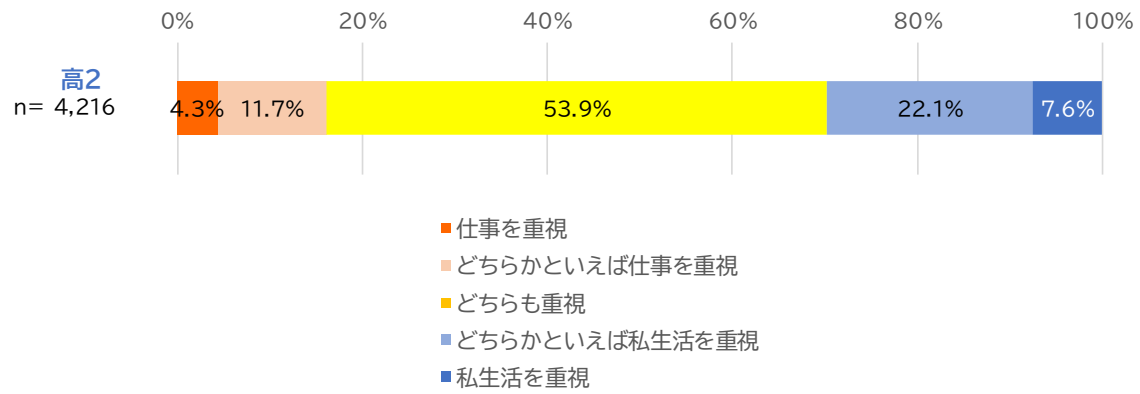


- 県内で進学・就職して、県内で生活したい。
- 進学・就職などで県外・海外に出ることはあっても、いつかは県内に戻って、県内で生活したい。
- 県内に進学・就職しても、いつかは県外・海外に出て、県外・海外で生活したい。
- 県外・海外に進学・就職してそのまま県外・海外で生活したい。
- わからない、考えたことがない。



11

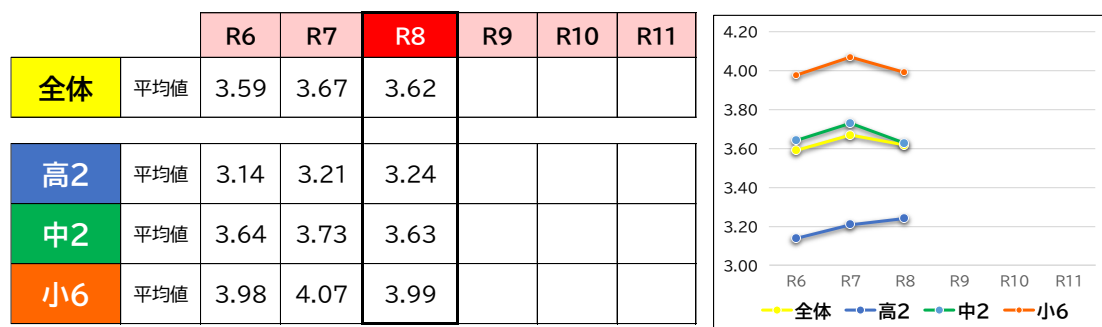
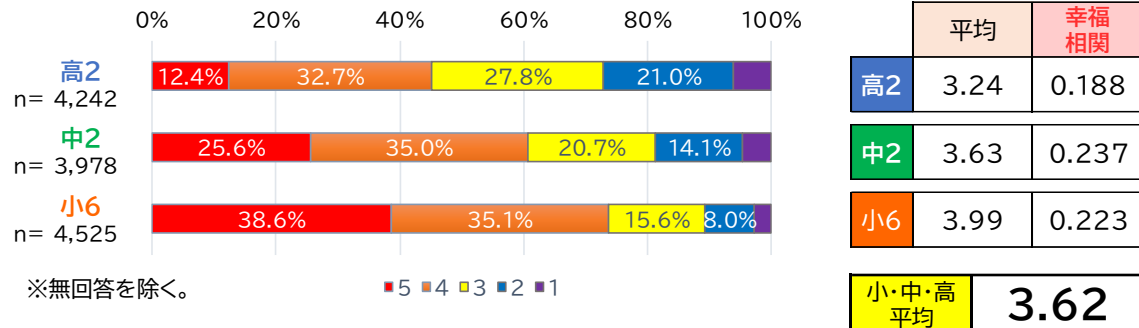
将来就職して、社会人として生活する上で、仕事と私生活(プライベート)のどちらを重視するか ※高校生限定



◆ 自分のくらしている地域への評価

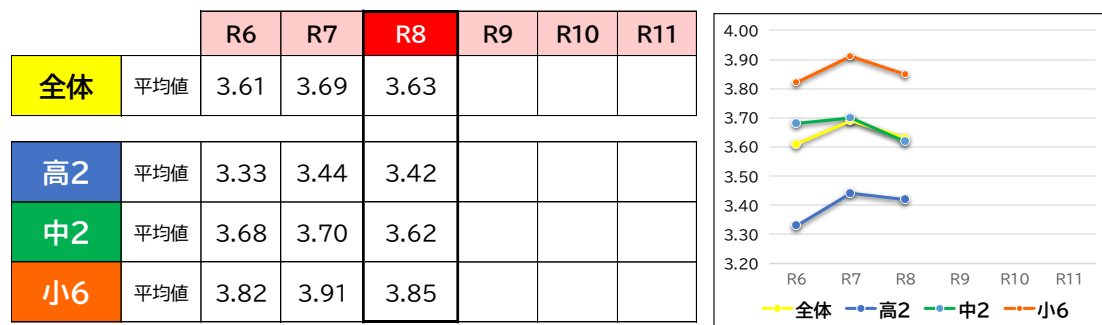
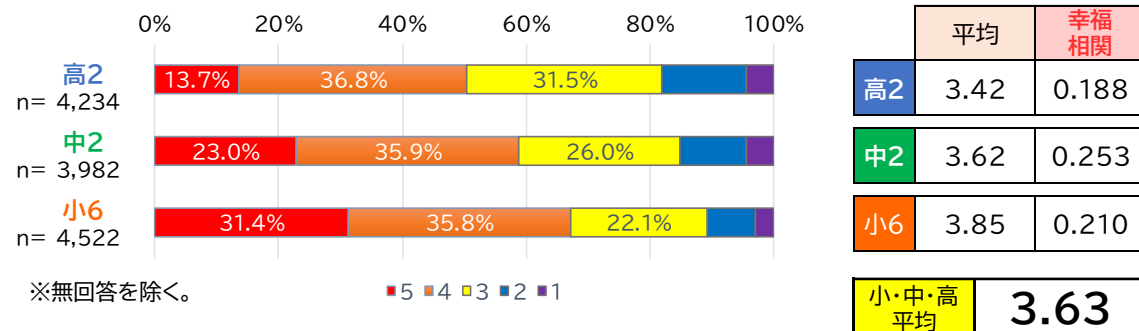
12

遊ぶ場所や楽しい時間を過ごせる場所が十分にある



13

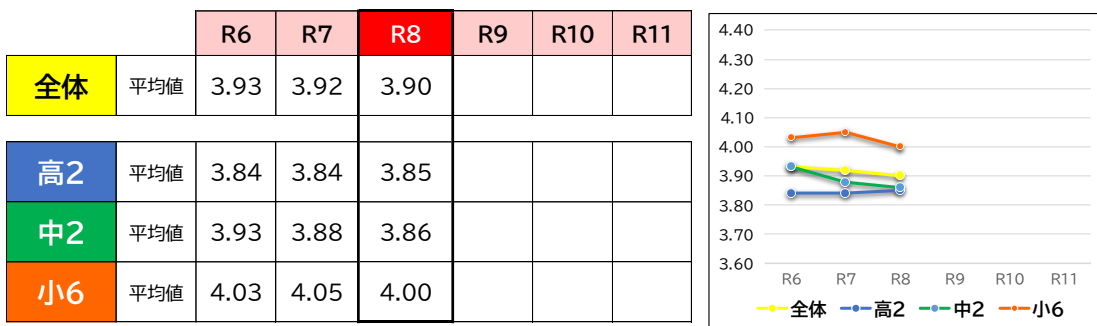
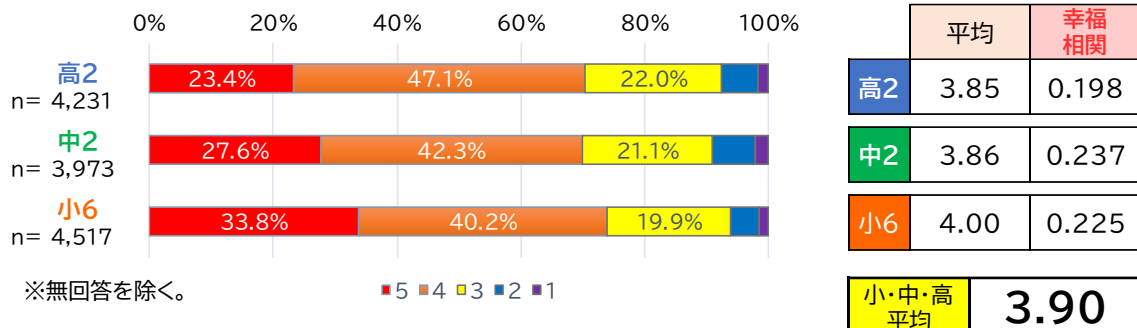
からだを動かしたり、スポーツをしたりする場所や機会が十分にある



5=とてもそう思う、4=そう思う、3=どちらともいえない、2=そう思わない、
1=まったくそう思わない

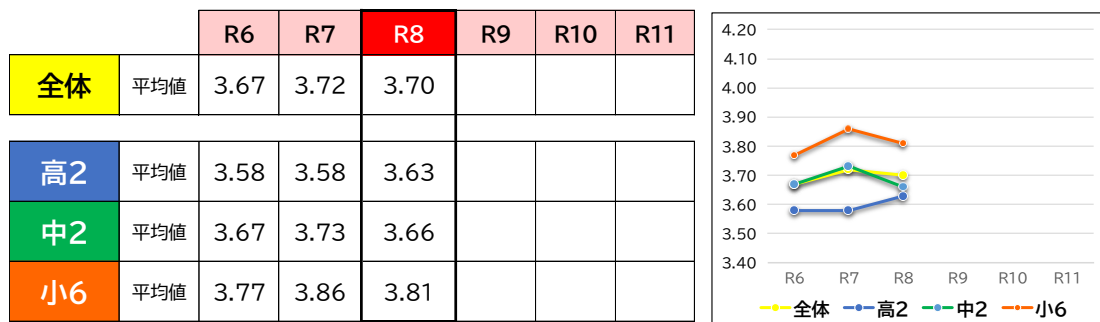
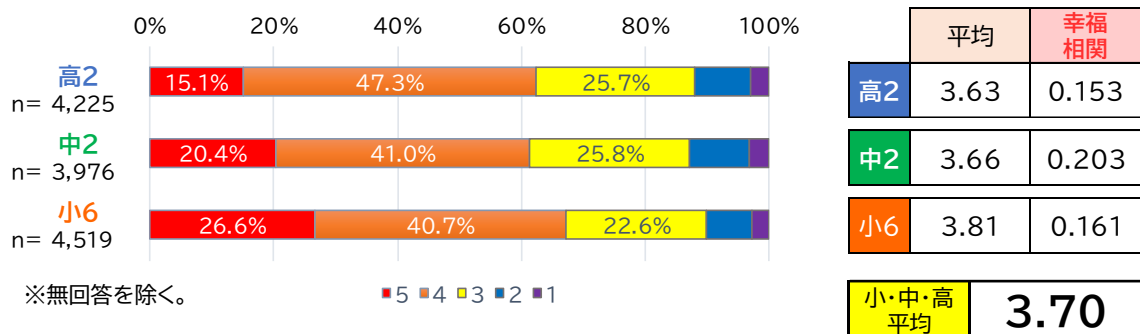
14

自然環境のなかで過ごせる場所や自然体験ができる機会が十分にある



15

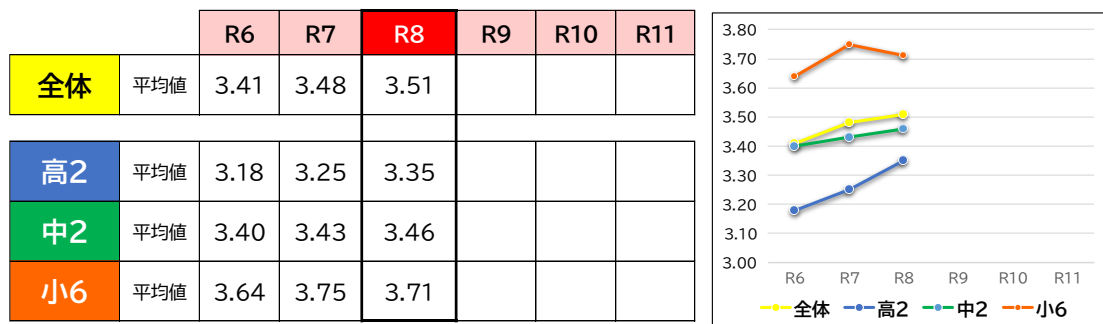
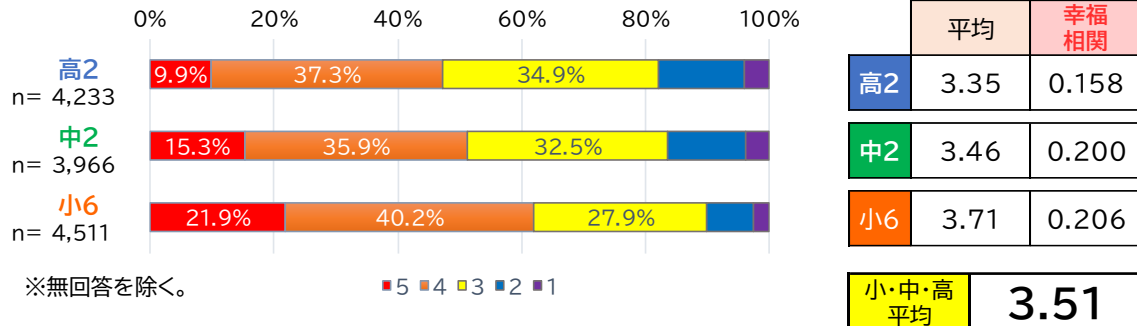
文化を体験したり学んだりできる場所や機会が十分にある



5=とてもそう思う、4=そう思う、3=どちらともいえない、2=そう思わない、
1=まったくそう思わない

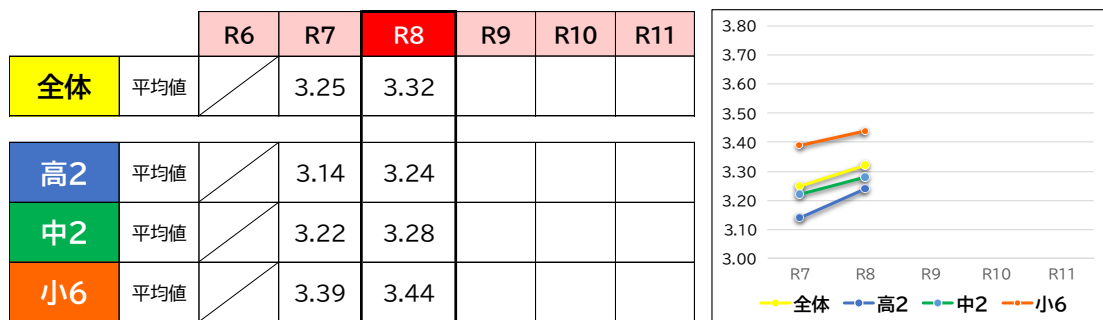
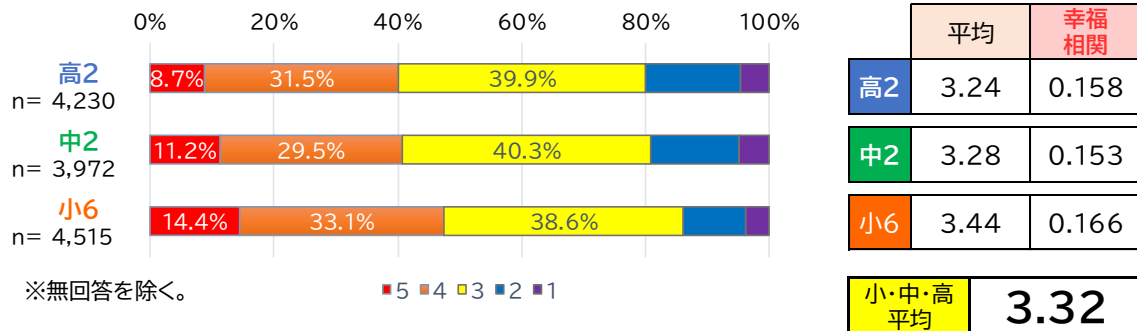
16

学校や地域の中で、地域の方々と一緒に学んだり、活動したりする機会が十分にある



17

学校や地域の中で、多文化共生について学ぶ機会が十分にあり、外国の人や文化への理解が進んでいる

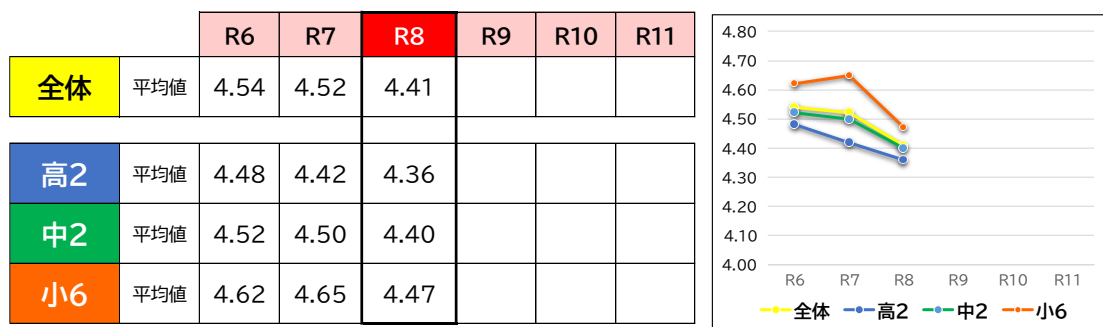
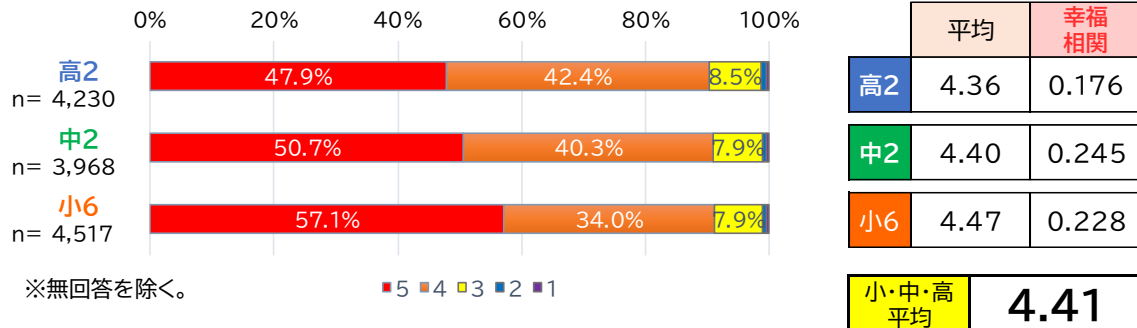


※令和7年度調査より新規追加した調査項目

5=とてもそう思う、4=そう思う、3=どちらともいえない、2=そう思わない、
1=まったくそう思わない

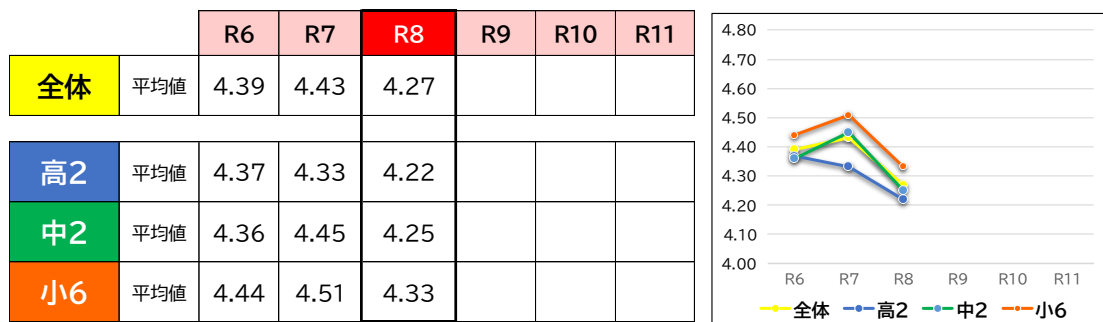
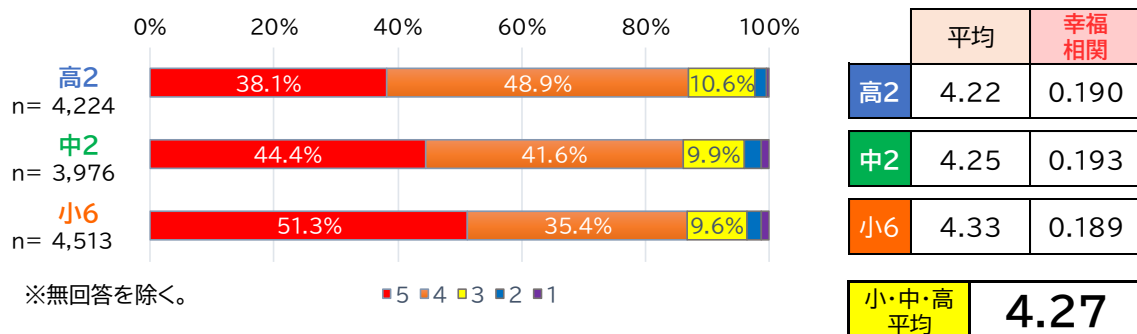
18

福島県産の米や野菜、食肉や魚、水や牛乳などの食べ物・飲み物は、安全で安心できる



19

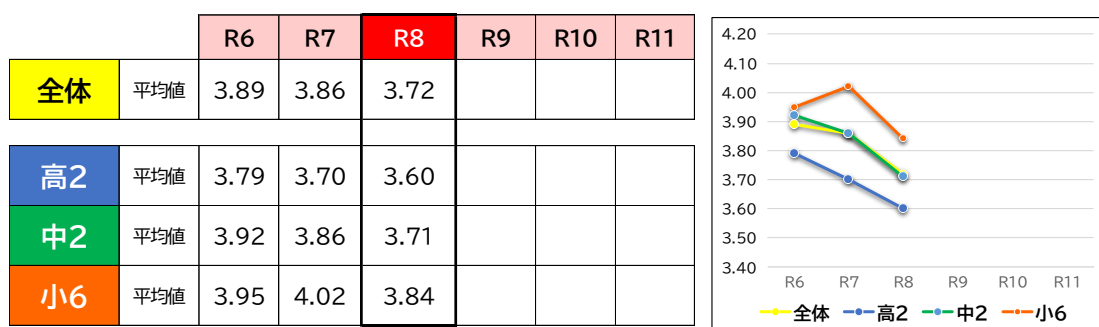
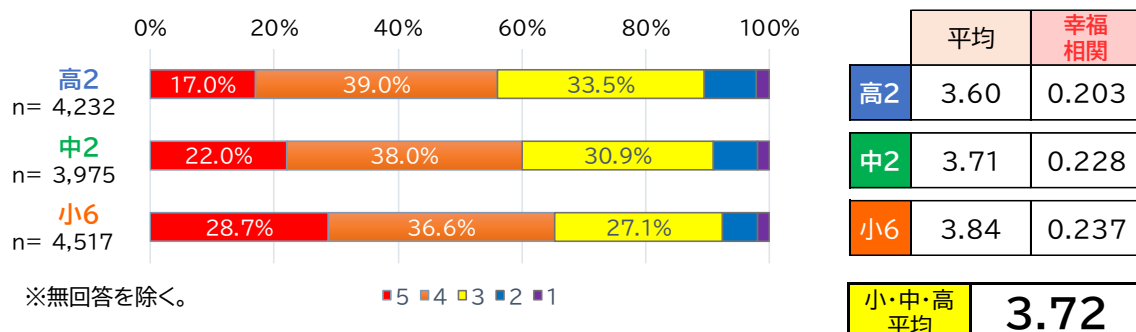
病気やけがをしたとき、安心して診てもらえる医者や病院がある



5=とてもそう思う、4=そう思う、3=どちらともいえない、2=そう思わない、
1=まったくそう思わない

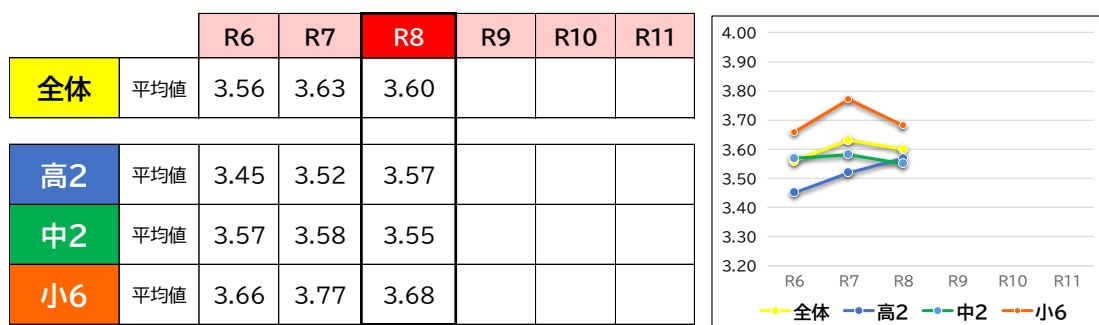
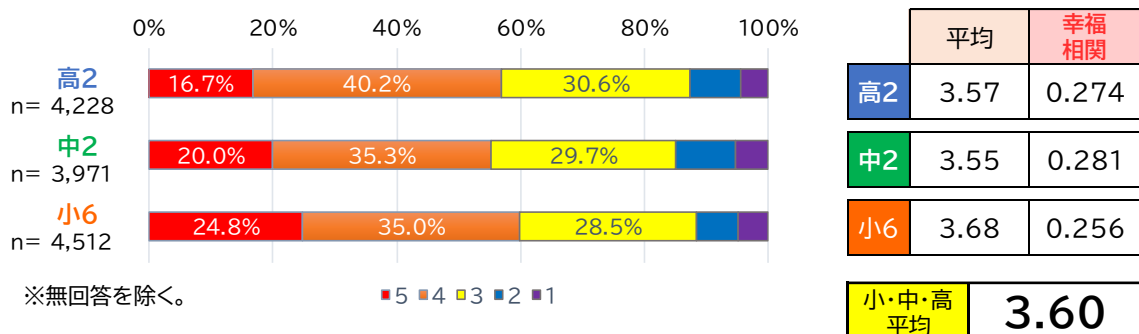
20

交通事故や犯罪にまきこまれる心配や不安がなく、安全・安心に生活できる



21

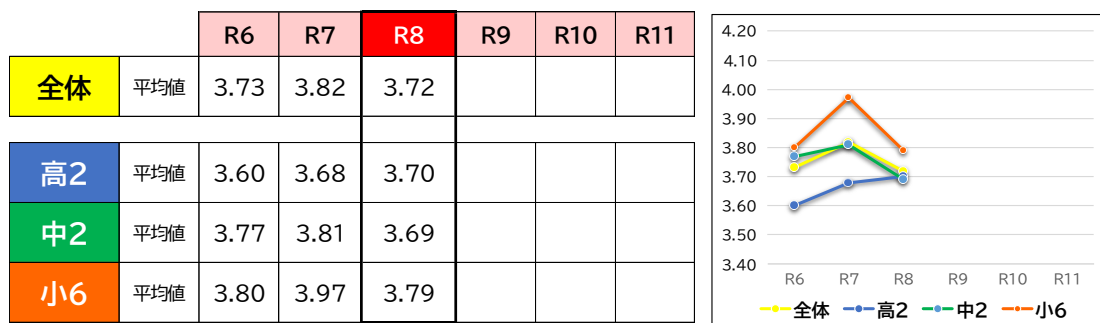
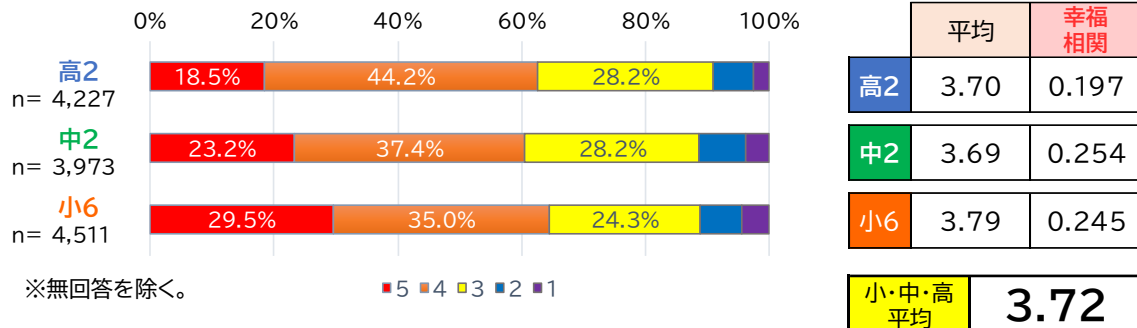
家族や友達などの身近な人には話しにくいなやみや、こまったことがあっても、他にたよれる人や相談できる人がいる。または、県や市町村などの相談窓口を利用することができる



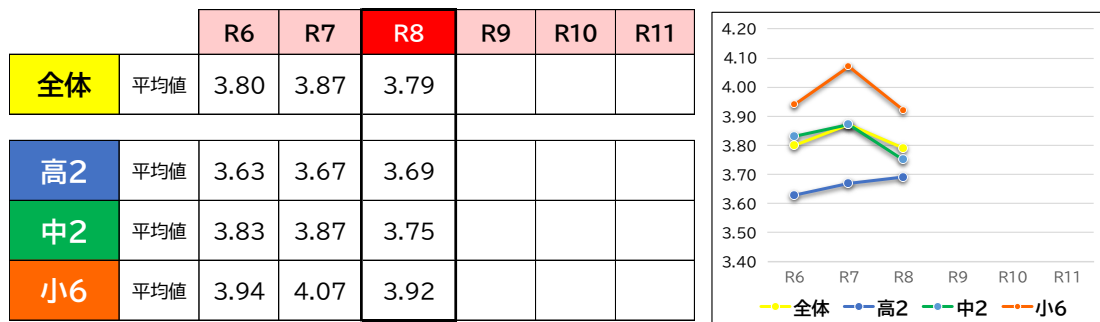
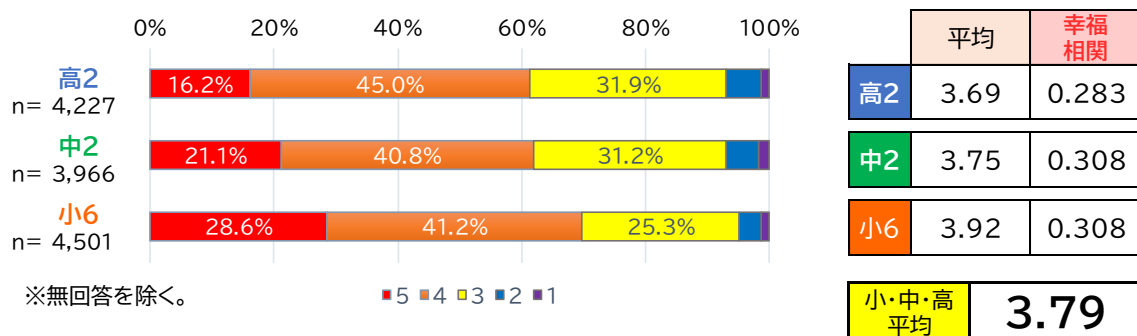
5=とてもそう思う、4=そう思う、3=どちらともいえない、2=そう思わない、
1=まったくそう思わない

22

男女が平等にあつかわれている



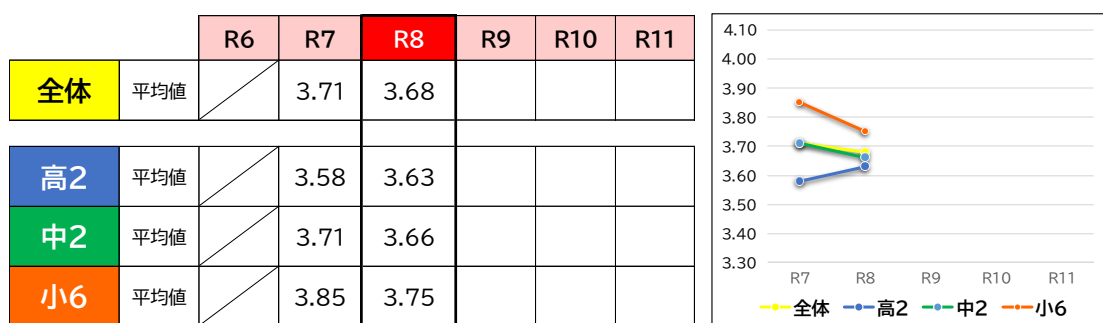
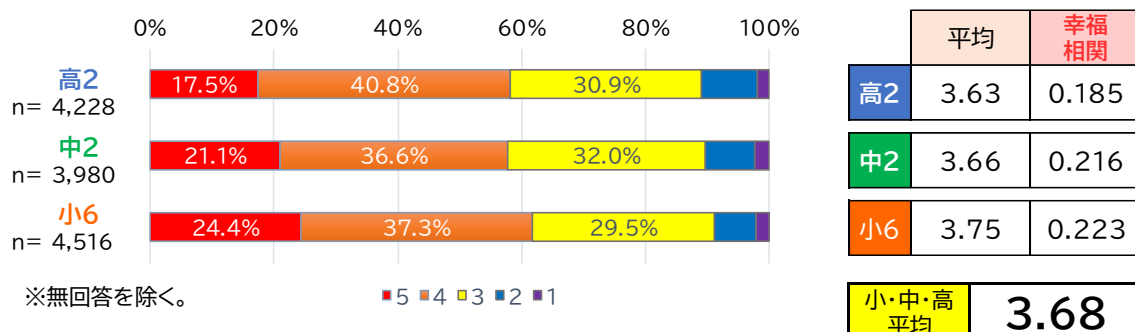
23

社会で生きていくことにむずかしさを感じている人や、
多くの人とちがう考えの人も、安心してくらすことができる

5=とてもそう思う、4=そう思う、3=どちらともいえない、2=そう思わない、
1=まったくそう思わない

24

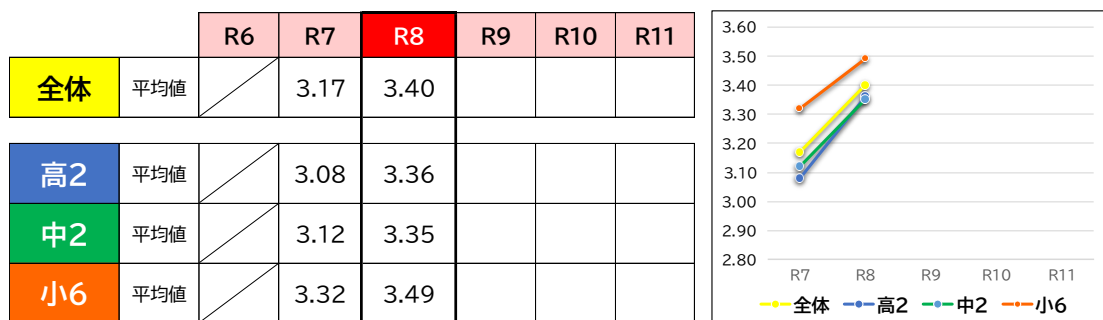
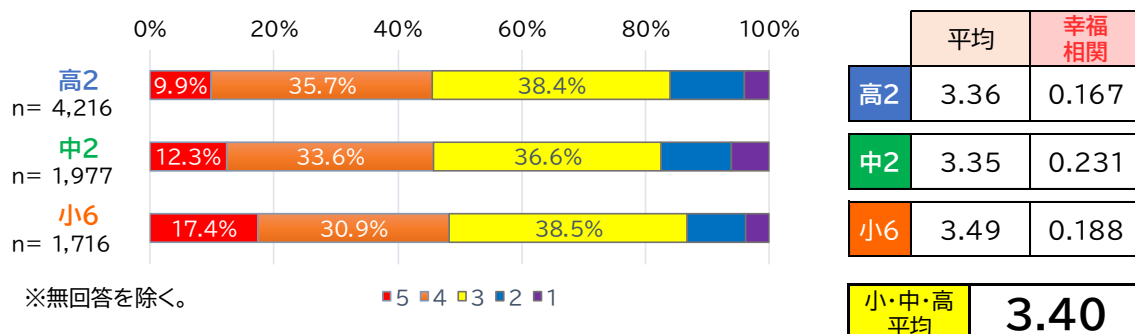
災害(地震、洪水、火事など)に強く、安心してらせる



※令和7年度調査より新規追加した調査項目

25

将来、地域の課題に関わりたいと思う

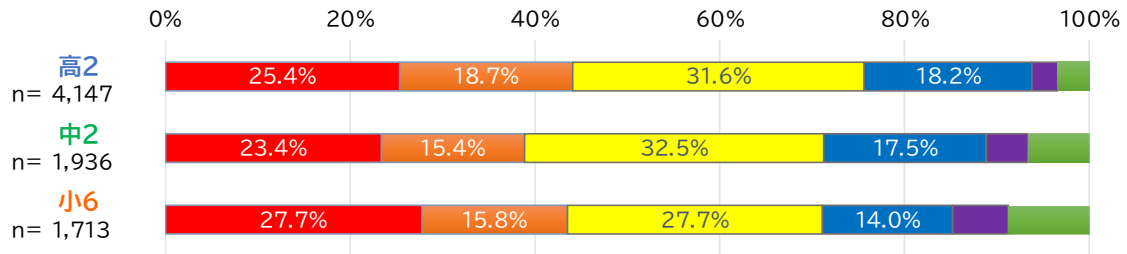


※令和7年度調査より新規追加した調査項目

5=とてもそう思う、4=そう思う、3=どちらともいえない、2=そう思わない、
1=まったくそう思わない

26

どのような仕組みがあると地域の課題に関わりやすくなるか

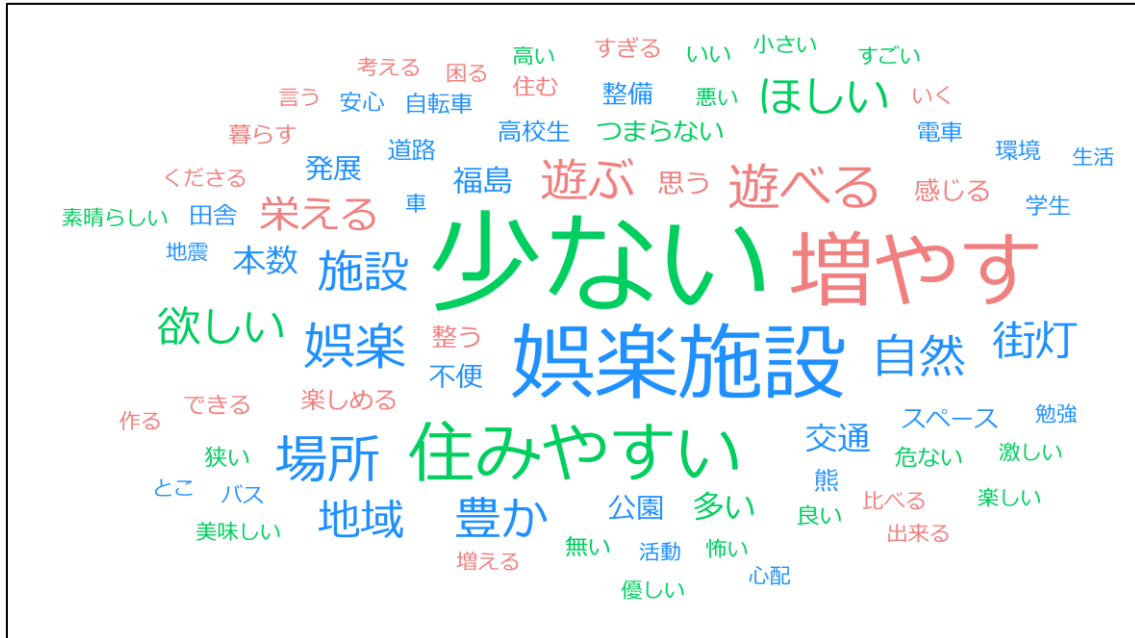


※無回答を除く。

- 1 短期・単発のイベントやボランティア活動（1日や数時間で完結するもの）
- 2 SNSやオンラインを活用した活動（意見投稿・アンケート・オンライン会議など）
- 3 学校や授業と連携した活動（総合学習や課外活動として取り組めるもの）
- 4 同世代の仲間と一緒に取り組める活動（高校生グループや若者団体での活動）
- 5 アイデアや意見を出す場への参加（ワークショップ・座談会・アンケートなど）
- 6 その他

福島県やあなたの暮らしている地域について、思っていること

自由記述で回答してもらった内容を対象に、テキストマイニングの手法を用いて分析を行った。



※単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞を表している。

また、このアンケートの回答内容を、生成 AI 技術(ChatGPT)を利用して要約・生成を行った。

＜主要な意見＞

地域の自然環境を評価しつつも、娯楽施設や交通の便、治安の改善を強く求めている。

以下は、重要なポイントを3つ抽出した要約。

1. 娯楽施設の不足

多くの回答者が「遊ぶ場所が少ない」「娯楽施設が少ない」と感じており、特に若者向けの施設が不足していることが指摘されている。「もっと遊べる施設を増やしてほしい」「高校生が遊ぶ場所がなくつまらない」との意見が多く見られる。

2. 交通の不便さ

「電車の本数が少ない」「公共交通機関が不便」といった意見が多く、特に若者や学生にとって移動が困難であることが強調されている。「電車が 1 時間に 1 本しかない」との具体的な不満もある。

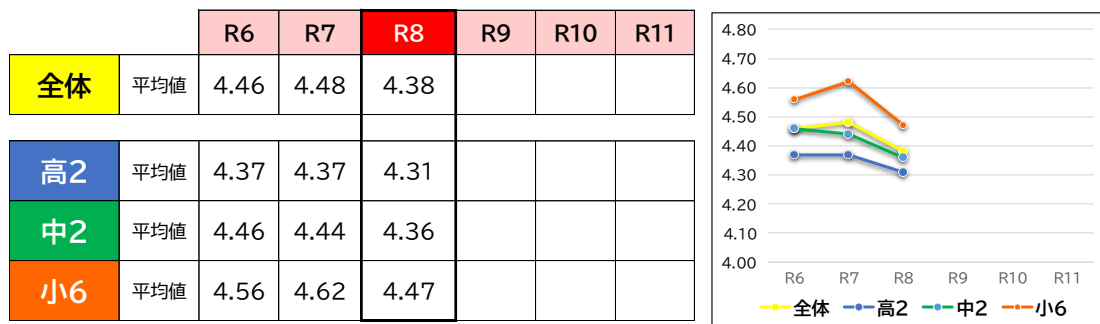
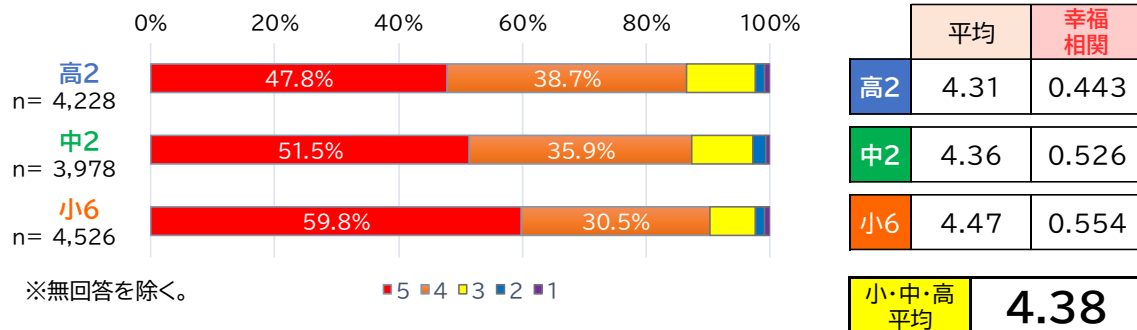
3. 自然環境の良さ

一方で、「自然が豊かで落ち着く」「水が美味しい」といったポジティブな意見も多く、地域の自然環境を評価する声が上がっている。「自然環境がとても良いので壊さないような工夫をしていきたい」との意見も見受けられた

◆ 自身を取り巻く環境に対する評価

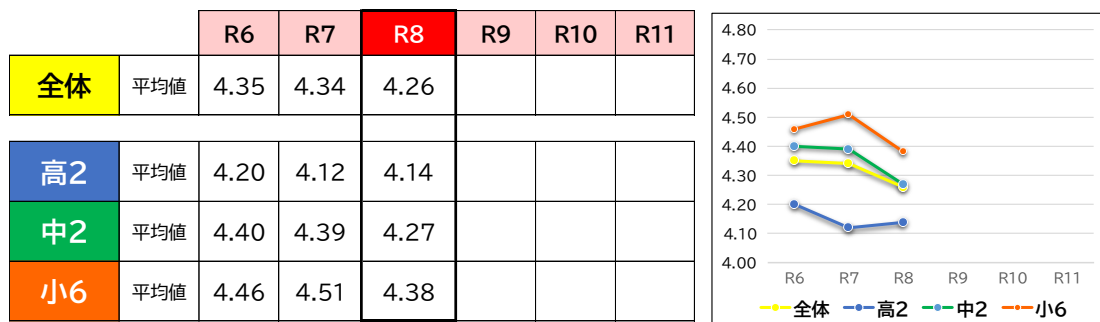
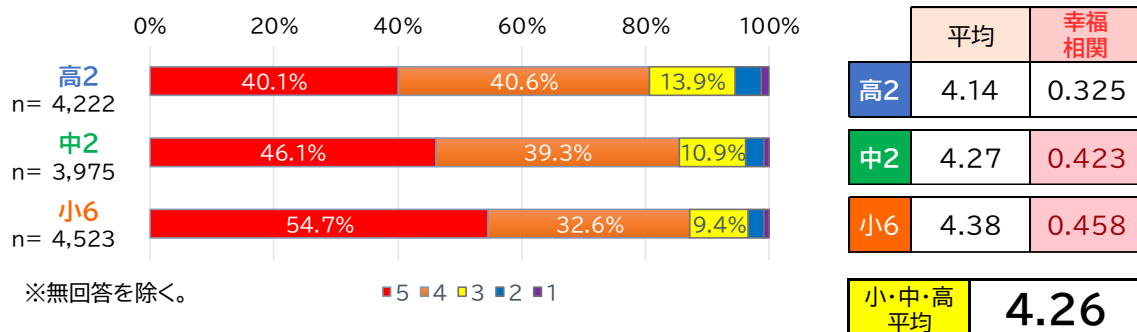
28

家族から愛されており、家では居心地よく安心して過ごしている



29

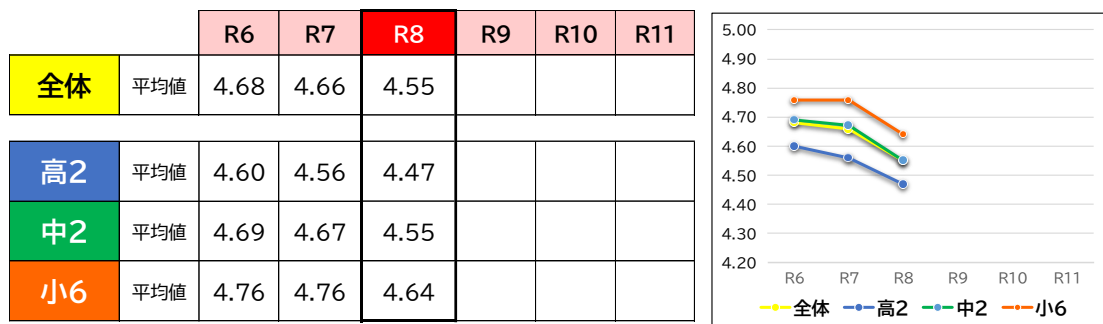
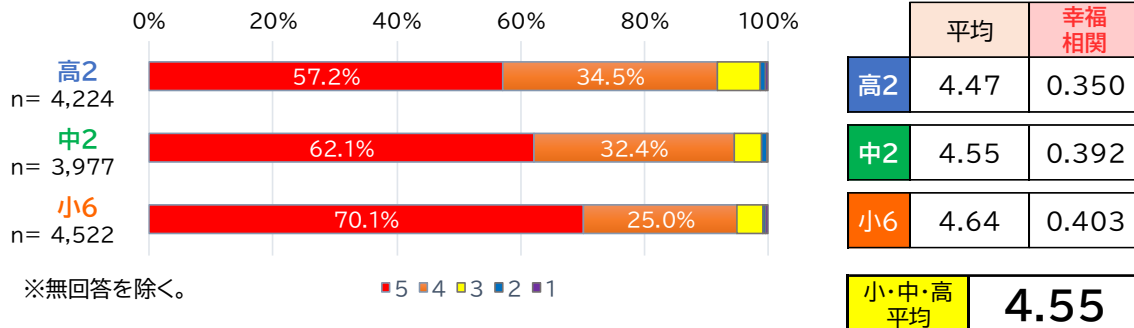
家族といっしょに過ごす時間が十分にある



5=とてもそう思う、4=そう思う、3=どちらともいえない、2=そう思わない、
1=まったくそう思わない

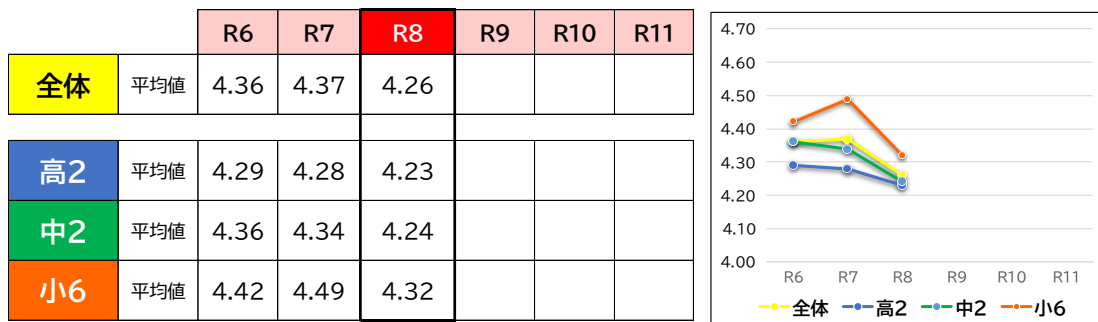
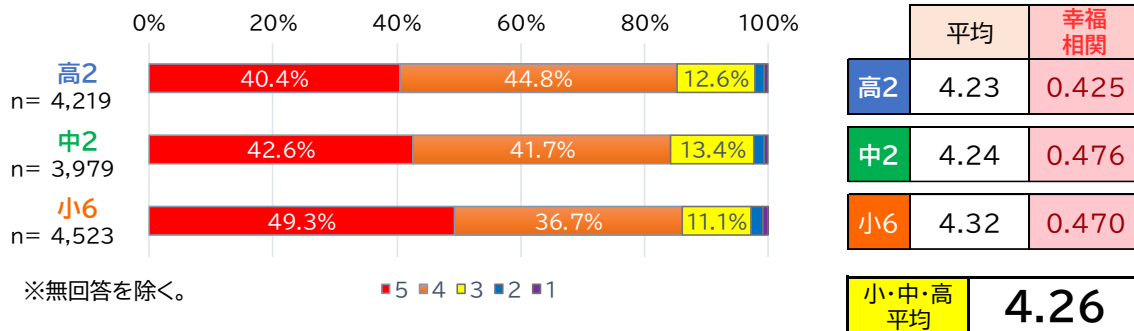
30

着るものや食べるものに困ることはなく、家は安全で
気持ちよく住める環境が整っている



31

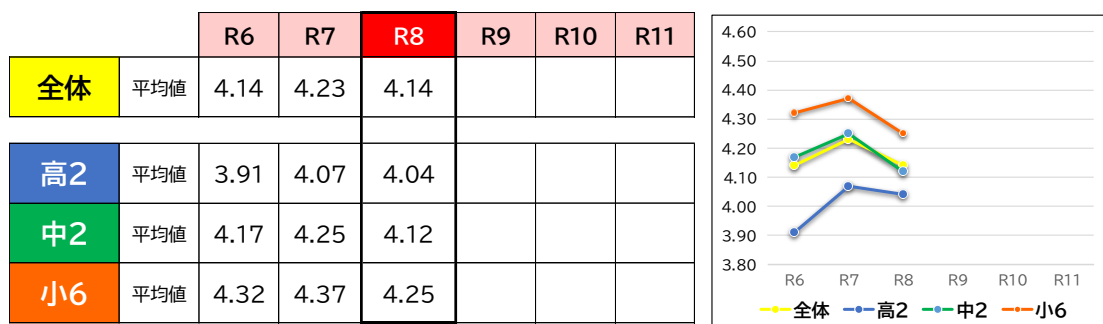
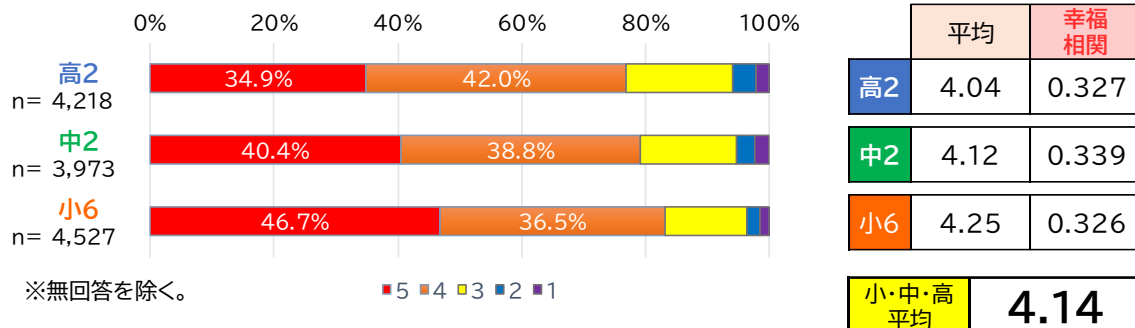
家庭や学校などで何かを決めるとき、自分の意思や意見を
聞いてもらえる・大事にあつかってくれる



5=とてもそう思う、4=そう思う、3=どちらともいえない、2=そう思わない、
1=まったくそう思わない

32

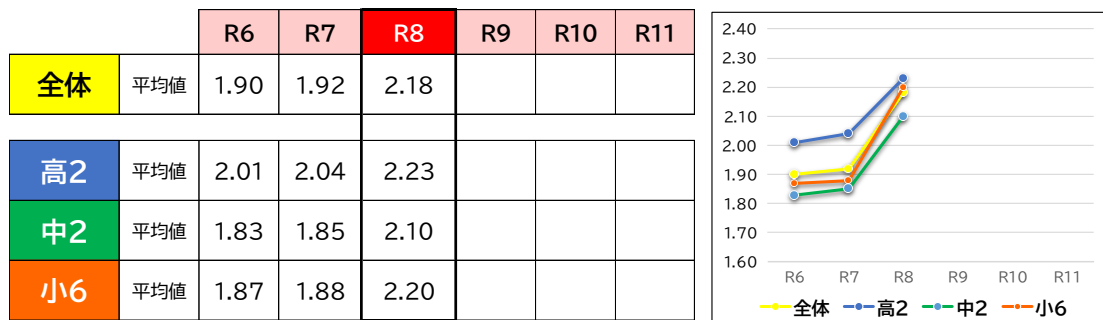
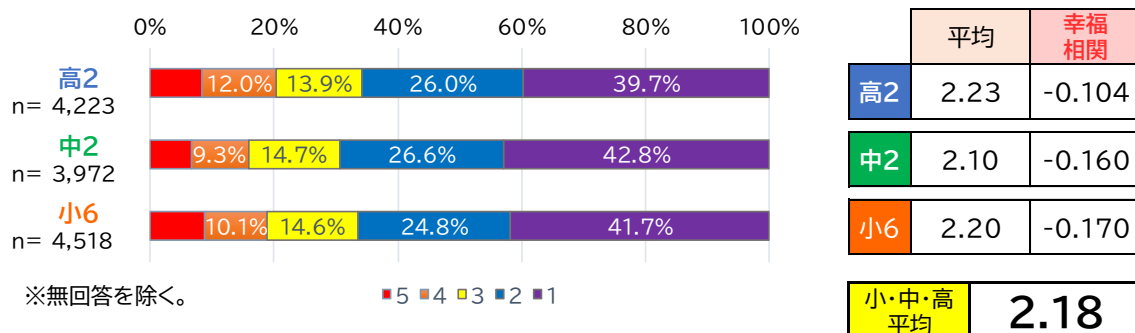
家や学校のほかにも、安心して過ごせて、居心地がよく、自分の個性がみとめられる居場所※がある



※ 地域のクラブ活動、こども会、塾や習い事、こども食堂、オンラインゲーム・SNS・メタバースなどのインターネット上のオンライン空間など。

33

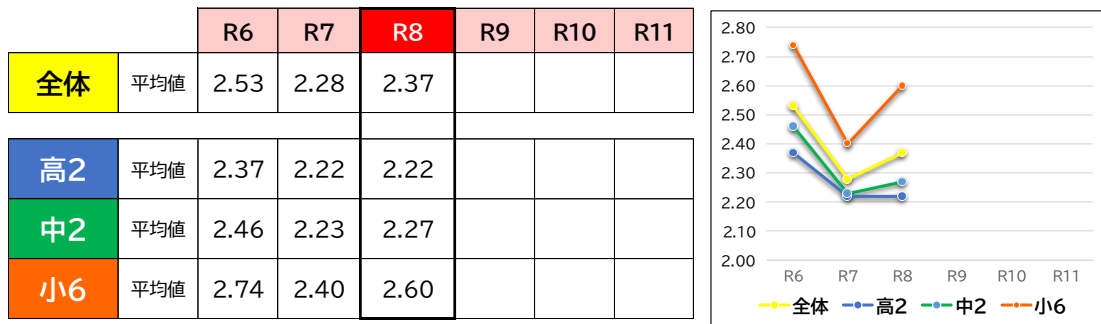
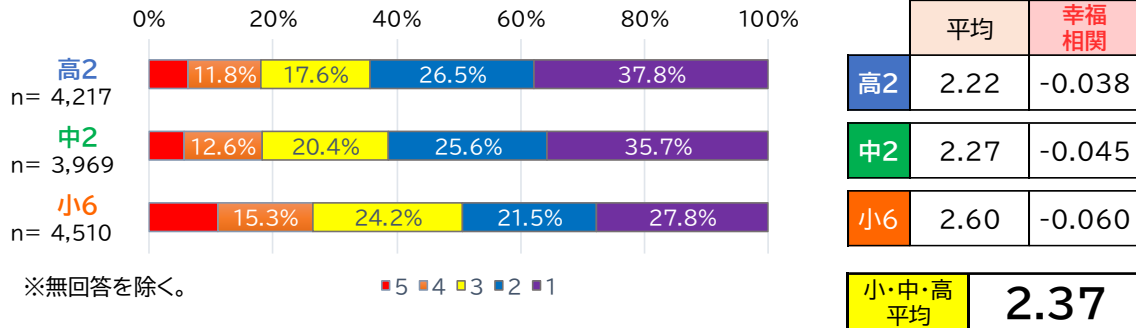
家族の世話や家事で、自分の時間(勉強や友達と遊ぶ時間など)が十分に取れないことがある



5=とてもそう思う、4=そう思う、3=どちらともいえない、2=そう思わない、
1=まったくそう思わない

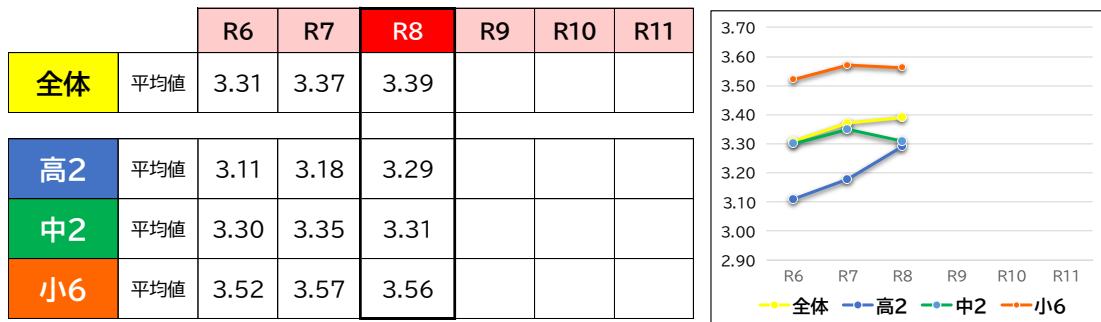
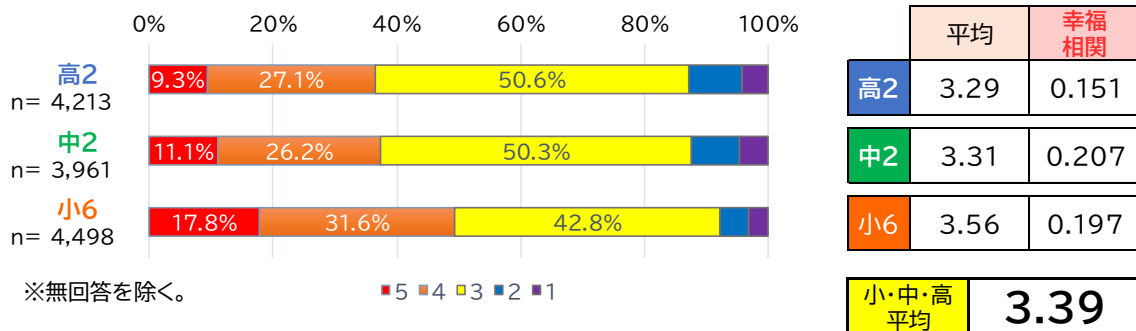
34

東日本大震災のときに原子力発電所で事故があったことや、事故を起こした原子力発電所が県内にすることで、自分や家族の健康や食べものの安全が心配になることがある



35

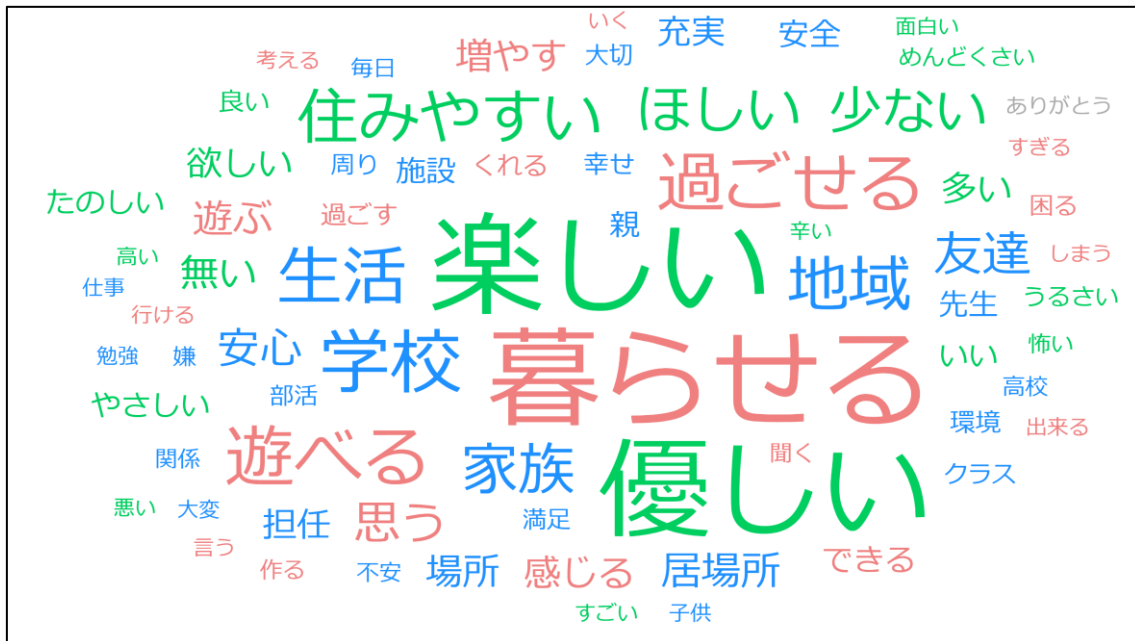
学校や県・市町村は、こどもや若者の声や意見をよく聞いて「こども施策」を進めている



5=とてもそう思う、4=そう思う、3=どちらともいえない、2=そう思わない、1=まったくそう思わない

自分自身の「今の生活」や「自分のまわり(家族・学校・友達・地域など)」について、思っていることや感じていること

自由記述で回答してもらった内容を対象に、テキストマイニングの手法を用いて分析を行った。



※単語の色は品詞の種類で異なり、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞を表している。

また、このアンケートの回答内容を、生成 AI 技術(ChatGPT)を利用して要約・生成を行った。

＜主要な意見＞

地域に対する満足感と同時に、具体的な問題点や改善点を挙げる回答が多く見られた。

以下は、重要なポイントを3つ抽出した要約。

1. 生活の満足度

多くの回答者が「特にない」や「楽しい」といったポジティブな感情を表現しており、現在の生活に満足している様子が伺える。「今の生活は幸せである」「楽しく生活できている」といった意見が見受けられる。

2. 地域の問題

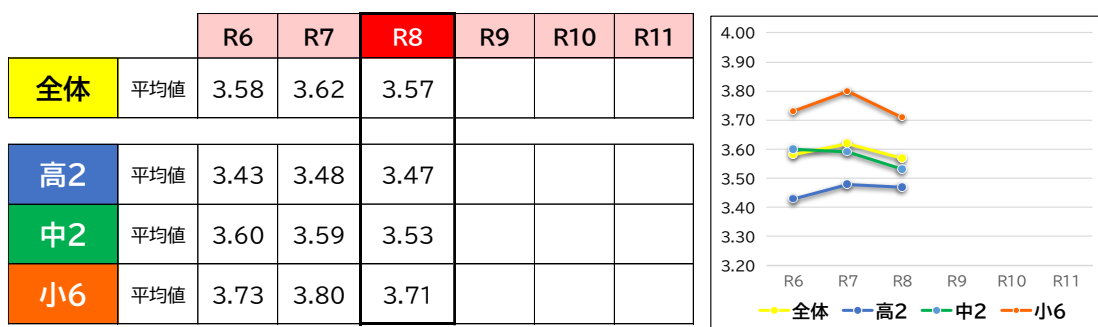
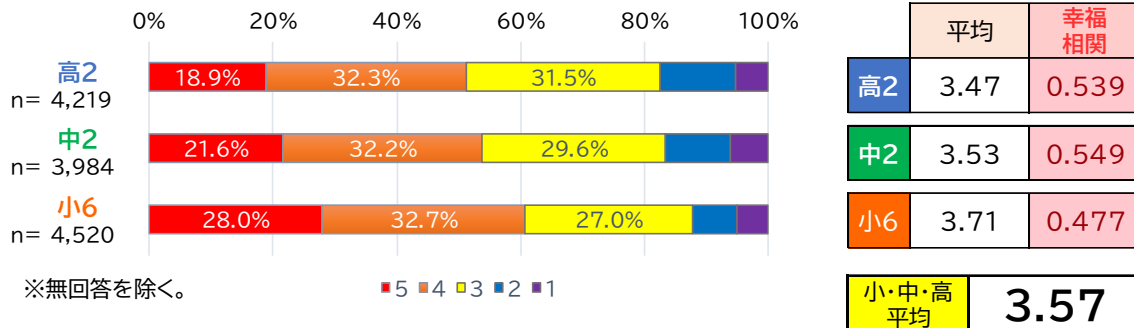
一方で、地域に対する不満も存在している。「遊べる場所が少ない」「電車の本数が少ない」といった具体的な問題が挙げられている。また、地域の格差や交通機関の不足についても言及されている。

3. 人間関係の悩み

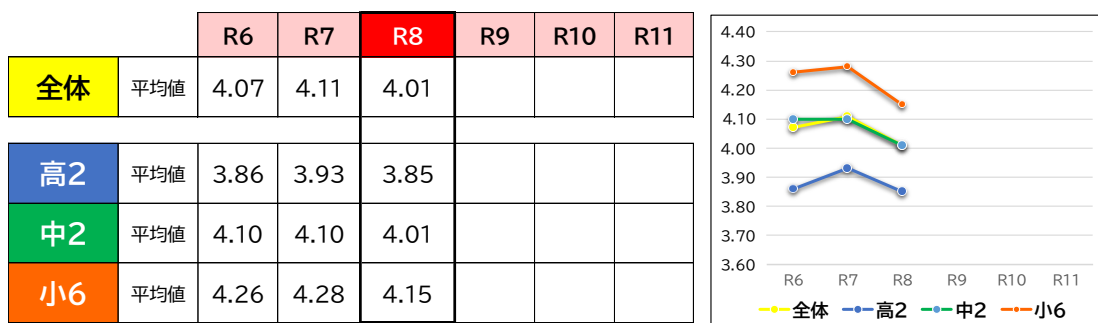
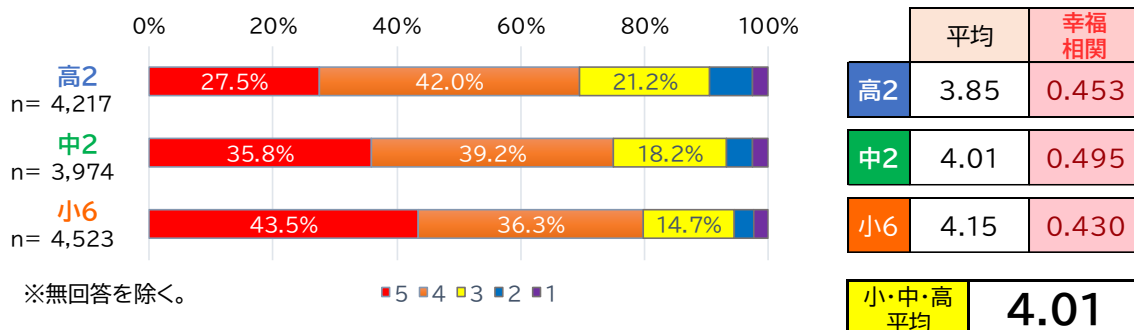
家族や友人との関係に関する悩みも多く、「家族の喧嘩が不安な時がある」「友達が冷たい」といった意見が見られる。人間関係に疲れているという声もあり、「人を信じない」といった否定的な感情も表れている。

◆ 自己肯定感

37 今の自分が好きだ



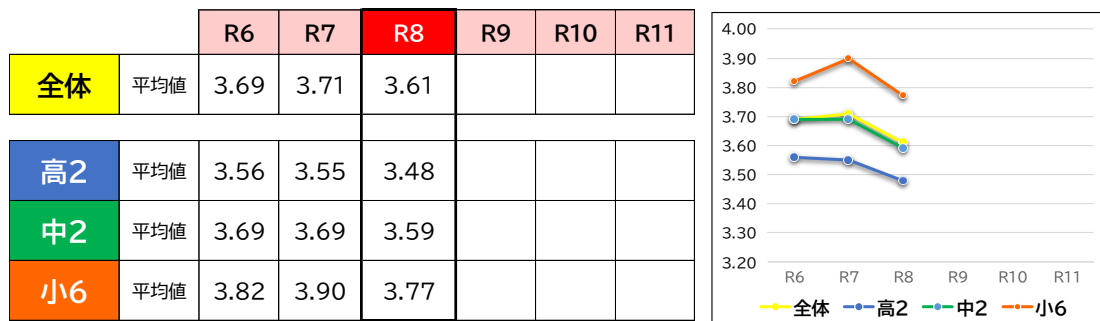
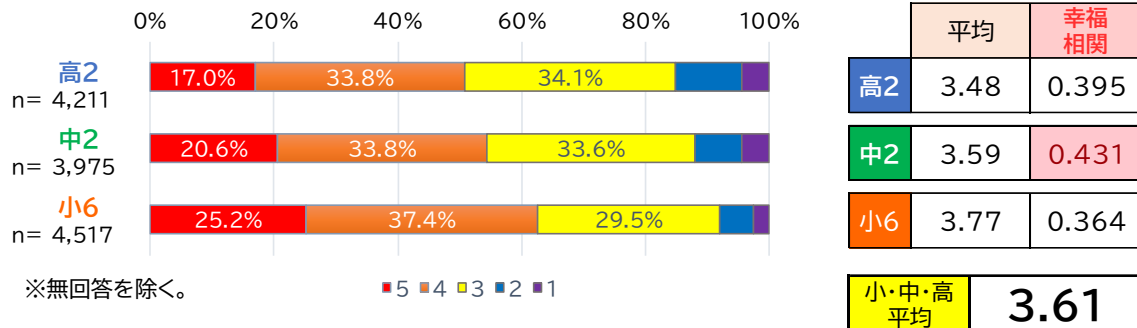
38 自分には、自分らしさというものがある



5=とてもそう思う、4=そう思う、3=どちらともいえない、2=そう思わない、
1=まったくそう思わない

39

自分は、大人になって社会に出て生活していけると思う



5=とてもそう思う、4=そう思う、3=どちらともいえない、2=そう思わない、
1=まったくそう思わない

◆ こどもたちの将来の夢

〈小学 6 年生〉

男子

パイロット バスケ バスケット バレーボール選手 サラリーマン
獣医
関係 ユーチューバー プロサッカー選手 nba プロバスケ
仕事
医師 プログーマー 会社員 料理人 消防士 薬剤師 先生
電車 職業 運転手 店員
宇宙飛行士 サッカー選手 医者 建築士
プログラマー 選手 プロ野球選手 教師
シェフ 弁護士
研究者 警察官 大工 陸上選手 野球選手 漫画家
寿司屋 運転士 整備士
建築 ゲームクリエイター... バasketボール 保育士
自衛隊 美容師 設計 公務員 YouTuber 農家 画家 パティシエ
サッカー ゲーマー パン屋 バレー

「野球をやっているから」「サッカーはやっていて楽しい」「憧れた人がいたから」

女子

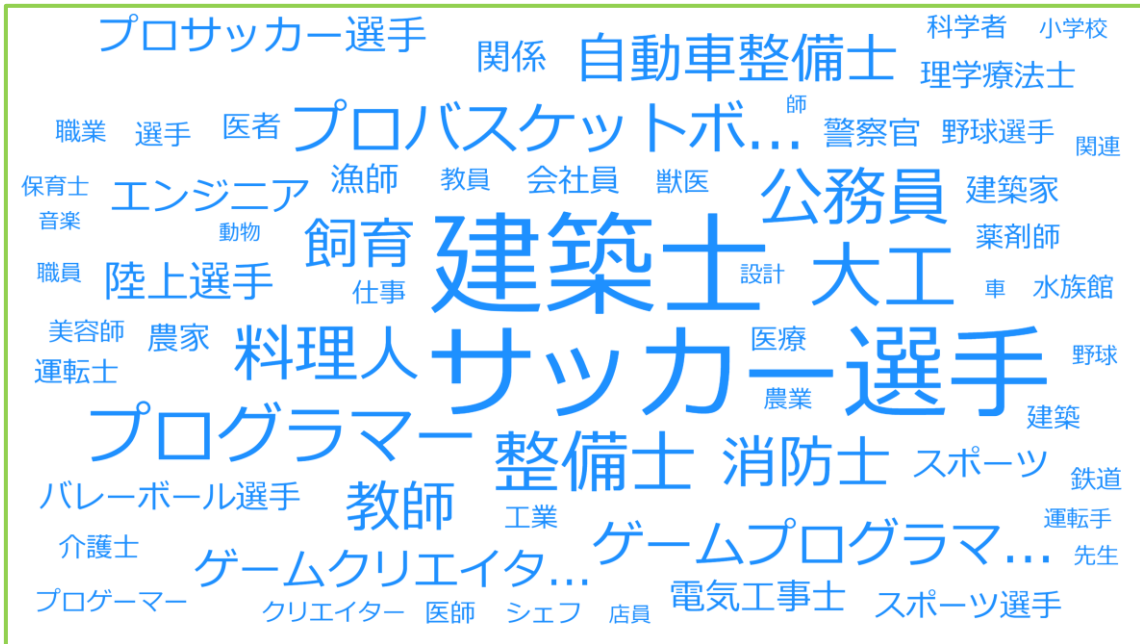
キャスト 公務員 助産師 保護 ユーチューバー vtuber 職業
小説家 ファッションデザ... 管理栄養士 ダンサー 美容
女優
陸上選手 かん 先生 パン屋 絵 料理人 獣医 小学校
警察官
YouTuber 看護師 保育士 美容師
幼稚園 選手 教師
ネイルリスト パティシエ お花 介護士
声優 関係
店員 漫画家 イラストレーター 音楽 会社員
歌手 花屋 保育園 動物園 仕事
サッカー選手 ペットショップ トリマー デザイナー
アイドル 農家 水族館 建築士 医者 獣医師 ピアニスト 宇宙飛行士
医療

「皆を、助けたいと思ったから」「おばあちゃんがやっているから」「お母さんと一緒に働きたいと思ったから」

テキストマイニングの手法を用いて、将来なりたい職業ややりたい仕事について質問した項目の自由記述欄における頻出語を抽出し、「ワードクラウド」を作成した。ワードクラウドにおいては、出現頻度の高いワードほど大きく表示される。また、そう思ったきっかけを生成 AI 技術 (ChatGPT) で 3 行に要約し、掲載している。

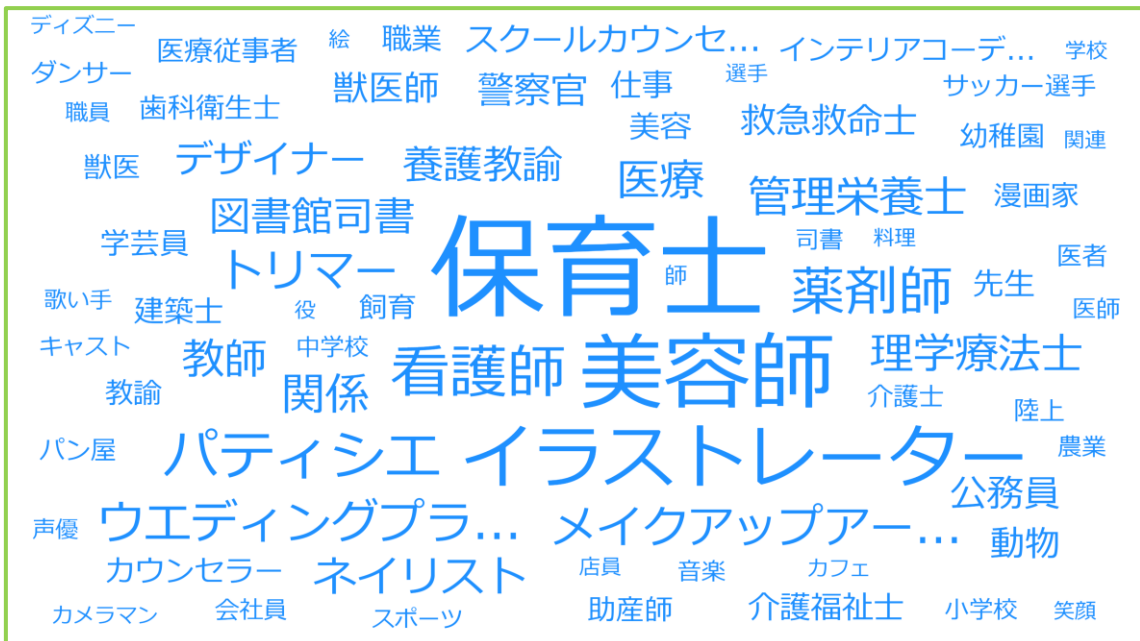
〈中学2年生〉

男子



「なりたと思ったから」「今サッカーをやっているから」「やってみたいと思った」

女子



「小さい子のお世話をするのが好きだから」「親がその仕事をしているから」「人と関わる仕事をしたいから」

テキストマイニングの手法を用いて、将来なりた職業ややりたい仕事について質問した項目の自由記述欄における頻出語を抽出し、「ワードクラウド」を作成した。ワードクラウドにおいては、出現頻度の高いワードほど大きく表示される。また、そう思ったきっかけを生成 AI 技術 (ChatGPT) で 3 行に要約し、掲載している。

